東京歯科大学同窓会会報

2004年2月　338

東京歯科大学同窓会会報　第338号

目　　次

巻頭言……1
新役員紹介……2～3
お知らせ……4～6
理事会のうごき……7～8
庶務日誌……9
追悼記事……10
母校だより……11～14
支部のうごき……15～25
クラス会だより……26～32
OB会・グループ・サークルだより……33～34
逝去会員・追悼……35～36
へんしゅうこうき……37

（表紙　野村　淳）

歯士会

(昭和38年卒)

昭和38年春我々の学年は無事に水道橋校舎から巣立つことが出来ました。長いようで短かった6年間の学生生活であったが，菅野における進学課程では学問よりも部活や遊学に若いエネルギーを傾けた日々であったことが思い出される。卒業の翌年は東京オリンピックの年に当り日本経済が高度成長期時代のスタートを切り，国外に経済力を認められ現在に比べるとまさに右肩上がりの時代であった。国際交流も活発になり，我々歯科医療分野においても外国大学や臨床家との交流を通して我々が大学教育では得られなかった歯科医学の新しい理論や術式が導入され始めて臨床分野での歯科医療のターニング・ポイントとなった時代であった。その影響を受けて海外に活躍の場を求めて日本を旅立ち現在もなお現役でがんばっている同期生もおります。

国内では母校に残る代わりに他大学に赴き（長崎大学，旭川医大，松本歯大），教授として教育および臨床の分野で活躍された同期生もおり，3年前のクラス会総会の折に海外組も含め北，近藤，後藤，鈴木（信），各君の記念講演と併せて長年の功績を讃えた次第である。

クラス会の開催も当初は不定期で東京での開催がほとんどであったが，時は人を待たずの喩えのごとく，卒後40年が経過し，それぞれが親として子弟の将来に対する責任も果たし終え，各種公務からも開放される年代になり，これからは自身の生き方を考える時間を共有できるようになり，135名の同期中すでに14名が他界した状況下でこの10年程は毎年開催となっている。「来年も元気で会おう」を合言葉に地方での開催を主としている。ちなみに平成16年は和歌山を予定している。また我々の学年の前後から女子の入学も徐々に増え，同期生中女子が1割を占め，全体会とは別に女子だけの集まりを年に数回持っているようで年々女性のパワーが強まる一方でWHOの統計に由るまでもなく平均寿命に関しては男性は女性の後塵を拝しているわけで，近い将来クラス会参加者はほとんど女性だけという事態になりかねないと危惧するのは同期の中で私一人ではなかろうと思われる。いずれにせよ歯士会の士を終生持ち続けることを願って。

（中川武幸 記）

平成12年5月26日　於　ホテルグランドパレス

平成15年度歯士会総会　平成15年10月4日　於 日光千姫物語

水公会（昭和56年卒）今は昔 卒業アルバムから（再掲）

337号（2003年12月）に掲載いたしましたが，製本の手違いで，一部写真が見えなくなりました。関係各位に，ご不快とご迷惑をおかけしたことをお詫びし，再掲いたしました。

（広報部委員会・一世印刷株式会社）

巻　頭　言

より良い方向に前進して

会長
天　野　　恵

昨秋の評議員会で続投を命じられ，５期目の執行部を発足することになりました。本年は参議院選挙の年であり，診療報酬マイナス改定濃厚の年でもあり，歯科界をとりまく環境は厳しく，このような時期に本同窓会をお預かりするのは，身の引き締まる思いで一杯であります。

本来，同窓会は会員中心のものであり，若い同窓が全国の何処で開業しても，全国110支部が温かい気持ちで迎えてくれるような支部組織が大切であり，その強化のための基盤整備を図る必要がある，と考えております。

そのためには，全国各地の声を大いに反映してまいりたいと思います。理事会におきましても各地域選出の理事には，単に各地域での行事の報告だけでなく，地域の情報や要望等を報告していただき，会務に取り入れてまいります。

一昨年は会費を10%カットして，同窓各位のご負担を軽くし，経費の節約をしてまいりました。そして昨年はさらに10%削減した事業予算を組み，評議員会でご承認をいただきました。本年は少ない予算でありますが最大限執行努力をいたし，従前以上の成果を上げ，財政基盤の長期安定を図るつもりでおります。このような現状を踏まえて執行部の若返りと，実務第一に考えての組閣をいたしました。同窓会の停滞は許されません。着実に一歩一歩前進し，わが同窓会を良くしていき，日本の歯科界をより良くする方向でなければなりません。

本年度より会則が改正され，保険部と情報部が正式な部として活動します。保険部は従来通り最新の保険情報を提供し，保険診療のお手伝いに一役かってくれるものと期待しております。情報部は本来の仕事としての情報活動の上に，会計処理の電算化や会員名簿の整備など多くの仕事が待ち受け，事務の合理化に大きく役立ってくれるでしょう。

広報部の会員動向調査によりますと，昭和24年卒業以来の会員に占める女性の割合は約17%に達し，現在では卒業生の約40%を占めるに至りました。このように女性会員が多くなる将来を見越して，女性の声を会務に反映するよう，各担当理事にお願いしてあります。

平成18年より歯科にも臨床研修医制が導入されます。その研修方法，受け入れ体制，医賠責保険等について，大学，父兄会と打ち合わせをし研修医の育成に協力してまいります。これに伴い，他大学出身の大学院修了者，研修医修了者の本会入会について，入会しやすい受け入れ体制を検討してまいります。

全国の同窓の皆さん，わが同窓会は良い方向に一歩ずつ前進して，皆様方のご期待に応えられるように努力してまいります。どうか絶大なるご支援を賜わりますようお願いいたします。

東京歯科大学同窓会新役員紹介

会　長

天野　恵（再任）
昭和25年卒

副会長

大学担当
梅田　昭夫（再任）
昭和27年卒

副会長

総務・会計担当
渡辺　公武（新任）
昭和33年卒

副会長

広報・厚生担当
大友　好（再任）
昭和34年卒

副会長

渉外担当
清藤　勇也（再任）
昭和34年卒

副会長
専務理事

学術・保険・情報
池田　漠（再任）
昭和34年卒

常任理事

総務担当
中根　俊吾（新任）
昭和35年卒

常任理事

会計担当
安藤　三男（再任）
昭和37年卒

常任理事

渉外担当
坂井　剛（再任）
昭和40年卒

常任理事

渉外担当
増田　進致（再任）
昭和42年卒

常任理事

学術担当
矢崎　秀昭（再任）
昭和42年卒

常任理事

学術担当
関　泰忠（新任）
昭和43年卒

常任理事

学術担当
角田　正健（新任）
昭和46年卒

常任理事

広報担当
大井　基道（再任）
昭和40年卒

常任理事

厚生担当
馬橋　亟男（新任）
昭和45年卒

常任理事

保険担当
黒須　誠（再任）
昭和42年卒

常任理事

情報担当
江里口　彰（再任）
昭和47年卒

理　事

藤森　敏昭（再任）
昭和44年卒

理　事

高畑　研佑（新任）
昭和46年卒

理　事

関谷　和夫（新任）
昭和42年卒

理　事

上野　眞人（新任）
昭和41年卒

理　事

山田　潤造（新任）
昭和52年卒

理　事

喜田　正昭（新任）
昭和34年卒

理　事

前田　　昇（新任）
昭和43年卒

理　事

髙田　　恬（再任）
昭和29年卒

理　事

松井　一成（新任）
昭和42年卒

理　事

久保田　晃（再任）
昭和38年卒

理　事

江崎梅太郎（新任）
昭和30年卒

常任監事

高原　映忠（再任）
昭和25年卒

監　事

堀　　光成（新任）
昭和37年卒

監　事

佐藤　　亨（新任）
昭和54年卒

―東京歯科大学同窓会嘱託―

貝塚　雅信（再任）
昭和26年卒

鳴神　保雄（再任）
昭和30年卒

中村　　博（再任）
昭和38年卒

お　知　ら　せ

理事会より

●新執行部が発足しました。２年間よろしくお願いいたします。

同窓会事業・行事

●ＴＤＣ卒後研修セミナー2004プログラム

臨床実技セミナー

No.1「MTMの実際」　平成16年4月10日(土)
4月11日(日)

No.2「インプラントに必要な解剖と臨床FAQ」　6月19日(土)
20日(日)

No.3「フラップ・オペレーションの実技」　7月10日(土)
11日(日)

No.4「旧義歯から学ぶ」　9月12日(日)

卒研フォーラム

No.5「かかりつけ歯科医として患者との繋がりを考える」
9月26日(日)

ベーシックセミナー

「生涯を見据えた診断と治療計画の立案」

No.6「歯の喪失リスクを読む」　10月17日(日)

No.7「歯はどこまで救えるか！」　11月7日(日)

問い合わせ先：東京歯科大学同窓会　Tel.03－5275－1761

●第33回同窓会全国ゴルフ大会

と　き　　平成16年8月26日（木）

ところ　　相模原カントリークラブ

●平成16年度東京歯科大学同窓会評議員会・定時総会

と　き　　平成16年11月20日（土）

ところ　　如水会館（千代田区一ツ橋2丁目）

地域支部連合・支部関係

●地域支部連合会会長の交替

平成16年1月1日付交替

東北地域支部	鈴木　貞雄 氏（19.9卒）	北陸地域支部	前田　　昇 氏（43卒）
前連合会長	小森谷　豊 氏（41卒）	前連合会長	奥川　澄夫 氏（35卒）
関東地域支部	村松　久中 氏（39卒）	近畿地域支部	吉田　朔也 氏（35卒）
前連合会長	増田　紀男 氏（39卒）	前連合会長	徳永　昭夫 氏（35卒）
信越地域支部	五十嵐重之 氏（31卒）	中国地域支部	佐藤　征紀 氏（43卒）
前連合会長	笠原　　亨 氏（36卒）	前連合会長	小徳　賢司 氏（43卒）
東海地域支部	大津　憲一 氏（36卒）	九州地域支部	中根　俊吾 氏（35卒）
前連合会長	武藤　章美 氏（41卒）	前連合会長	宮内　孝雄 氏（27卒）

● 支部長交替

平成15年12月31日付交替

足立支部	山田　俊治 氏（51卒）	静岡県支部	大津　憲一 氏（36卒）
前支部長	木村　利男 氏（47卒）	前支部長	喜田　正昭 氏（34卒）
平成16年1月1日付交替		大阪府支部	粟田　正人 氏（51卒）
山形県支部	岩沼　　甫 氏（41卒）	前支部長	徳永　昭夫 氏（35卒）
前支部長	東海林　修 氏（34卒）	和歌山県支部	栗山　雄治 氏（45卒）
千葉県支部	浅野　薫之 氏（40卒）	前支部長	前田　週司 氏（45卒）
前支部長	宮下　恒太 氏（35卒）	愛媛県支部	日浅　新三 氏（48卒）
横浜西部支部	島田　英明 氏（39卒）	前支部長	正岡　勇記 氏（50卒）
前支部長	髙階　皓三 氏（35卒）	長崎県支部	渡邊　修志 氏（35卒）
山梨県支部	村松　久中 氏（39卒）	前支部長	宮内　孝雄 氏（27卒）
前支部長	上田　昭雄 氏（39卒）	平成16年1月8日付交替	
浅草支部	松木　英作 氏（47卒）	町田支部	前田　康英 氏（48卒）
前支部長	宮元　亮一 氏（46卒）		陸田　二郎 氏（35卒）
板橋支部	渋谷　国男 氏（43卒）	平成16年1月11日付交替	
前支部長	小野寺寛造 氏（38卒）	岡山県支部	佐藤　征紀 氏（43卒）
		前支部長	森谷　昌哉 氏（39卒）

母校関係行事・案内

● 平成16年度東京歯科大学入学試験

一般入試（Ⅱ期）　　平成16年3月7日(日)

詳細は334号（6月号）13頁～14頁に掲載

● 第109回東京歯科大学卒業証書・学位記授与式

と　き　平成16年3月25日(木)午前10時

ところ　東京歯科大学千葉校舎講堂

● 平成16年度東京歯科大学入学式

と　き　平成16年4月5日(月)

ところ　東京歯科大学千葉校舎講堂

● 第53回東京歯科大学衛生士専門学校卒業証書授与式

と　き　平成16年3月12日(金)午後1時

ところ　東京歯科大学千葉校舎講堂

● 平成16年度東京歯科大学衛生士専門学校入学式

と　き　平成16年4月3日(土)午前10時

ところ　東京歯科大学千葉校舎講堂

● 平成16年度東京歯科大学学会

第227回　例会　　平成16年6月5日(土)

演題締切　4月20日(火)正午

第278回　総会　　平成16年10月16・17日（土，日）

演題締切　8月31日(火)正午

〔訂正とお詫び〕

同窓会報337号（2003年12月号），「すいどうばし」欄，正木光児先生の卒業年度について，昭和20年9月卒業を昭和29年9月卒業と誤記してしまいました。お詫びして訂正いたします。

平成16年度理事会・常任理事会，卒後研修セミナー，広報部委員会
年 間 開 催 日 程 表

理事会・常任理事会		卒後研修セミナー		広報部委員会	
開催日	区　分	開催日	研修内容	開催日	作業内容
1月17日(土)	第1回　理事会			1月15日(木)	2月号編集
2月18日(水)	第1回　常任理事会			2月13日(金)	4月号企画
3月13日(土)	第2回　理事会			3月12日(金)	4月号編集
4月14日(水)	第2回　常任理事会	4月10日(土)	臨床実技セミナー（MTM）	4月12日(月)	6月号企画
4月23日(金)	監査会	4月11日(日)	臨床実技セミナー（MTM）		
5月15日(土)	第3回　理事会			5月12日(水)	6月号編集
6月16日(水)	第3回　常任理事会	6月19日(土)	臨床実技セミナー（インプラント）	6月11日(金)	8月号企画
		6月20日(日)	臨床実技セミナー（インプラント）		
7月14日(水)	第4回　常任理事会	7月10日(土)	臨床実技セミナー（FOP）	7月12日(月)	8月号編集
		7月11日(日)	臨床実技セミナー（FOP）		
				8月24日(火)	10月号企画
9月18日(土)	第4回　理事会	9月12日(日)	臨床実技セミナー（総義歯）	9月13日(月)	10月号編集
		9月26日(日)	卒研フォーラム		
10月16日(土)	第5回　理事会	10月17日(日)	ベーシック セミナー（講演・グループディカッション）	10月13日(水)	12月号企画
11月19日(金)	第6回　理事会	11月7日(日)	ベーシック セミナー（講演・グループディカッション）	11月12日(金)	12月号編集
11月20日(土)	評議員会・定時総会				
12月15日(水)	第5回　常任理事会			12月6日(月)	平成17年2月号企画
				平成17年	
				1月12日(水)	2月号編集
（理事会6回・常任理事会5回）					
1．理事会 土曜日　午後2時30分 水道橋校舎特別会議室（5階） （会長・副会長連絡会 午後1時00分） 2．常任理事会 水曜日　午後5時00分 水道橋校舎同窓会会議室（1階）		1．臨床実技セミナー ベーシック セミナー ①開催時間 4月10日（土）13：00～ 4月11日（日）9：30～ 6月19日（土）9：30～ 6月20日（日）9：30～ 7月10日（土）13：00～ 7月11日（日）9：30～ 9月12日（日）9：30～ 10月17日（日）9：30～ 11月7日（日）9：30～ ②会　場 水道橋校舎2階血脇記念ホール 2．卒研フォーラム 9月26日（日）9：00～ 文京シビックセンター小ホール		1．時　間 午後6時30分～ 2．場　所 水道橋校舎同窓会会議室（1階）	

理事会のうごき

来年度も財政健全化を
天野会長　最終理事会であいさつ

天野　恵会長は本年度最終の第６回理事会で２年前に会費の値下げをし，さらに来年度の事業費予算を10%削減し，引き続き財政の健全化を図りたいとあいさつの中で述べた。

第５回理事会

平成15年11月14日（金）午後２時30分
於　　特別会議室
出席　嘱託２名を含め34名
議長　金子副会長

会長挨拶

明日開催の評議員会に向けて，役員各位がこの一年間会務に奉仕した業績を充分に発揮されたいと述べた。

黙　　祷

静岡県支部・関口保彦氏他11名のご逝去を悼み，謹んで哀悼の意を表した。「起立黙祷」

会務報告

(1) 平成15年10月22日から12月22日までの日程について報告。
(2) 評議員会出席予定人員について報告。
(3) 評議員代理出席届について報告。
(4) 平成15年度評議員会時間配分を報告。
(5) 平成15年秋の叙勲，褒章受章者について次の会員が受章の栄誉に浴された。

(平成15年秋の叙勲)
勲三等旭日中綬章　鈴木和男 氏（埼玉県・昭26卒）
旭日双光章　嶋中豊彦 氏（青森県・昭22卒）
旭日双光章　江島俊昭 氏（北海道・昭24卒）
旭日双光章　齋藤　昇 氏（宮城県・昭32卒）
(平成15年度日本歯科医師会褒章)
有功章　堺　みち 氏（山形県・推　薦）
有功章　清藤勇也 氏（青森県・昭34卒）
有功章　岡本日出夫 氏(鳥取県･昭37卒)
(平成15年度日本歯科医師連盟褒賞)
日本歯科医師連盟褒賞
梅田昭夫 氏（東京都・昭27卒）

(6) 会費納入管理のOA化については安価でかつ20年程度管理のできるようなソフトを考え検討していることを報告。
(7) 平成15年度会計現況報告について報告。
(8) 平成15年度冬季期末手当について報告。
(9) 学術講演会講師派遣交通費の支出について２件報告，了承。
(10) 10月10日開催された大学，父兄会，同窓会三者懇談会について報告。
(11) 会報12月号に女性会員に関するアンケート結果を掲載することを報告。
(12) 平成15年度逝去会員は11月10日現在で累計93名，規定により弔慰共済金を贈呈したことを報告。

協議事項

(1) 評議員会進行手順の再確認を再度詳細に説明し，協議のうえ了承。
(2) 平成15年10月24日秋田県支部・五味武一氏から「血脇記念基金」に金壱百万円を寄贈されたことの報告と謝辞。
(3) 近年本学新卒者中，女子の割合が４割となり年々増加の傾向にあることを報告。
(4) 同窓会扱いによる団体所得補償保険の制度内容改定と自動車保険集団扱いについて説明。内容を支部長各位に連絡した。

第６回理事会

平成15年12月20日（土）午後２時30分
於　　特別会議室
出席　嘱託２名を含め31名
議長　鈴木副会長

会長挨拶

平成14年度からの会費値下げのなかで，本年度予算

10%を削減し，財政の健全化を図りたいので各部担当者にはかなりの負担を強いたが，同窓会の将来を考えると止むを得ない。また，この２年間協力された役員各位に感謝の意を表した。

黙　　祷

愛知県支部・加藤一郎氏他16名のご逝去を悼み，謹んで哀悼の意を表した。「起立黙祷」

会務報告

(1) 平成15年11月15日から平成16年１月30日までの日程について報告。

(2) 平成16年１月１日現在で新たに75歳（昭和３年生まれ）に達する会員調べについて報告。

(3) 平成16年１月１日現在で新たに80歳（大正12年生まれ）に達する会員調べについて報告。

(4) 平成16年度評議員会開催場所を報告。

(5) 第50回全国歯科大学同窓・校友会懇話会で各同窓会の会費について協議したことを報告。

(6) 会費納入についてシステムの変更を説明し，事前に各支部長の了解を得る必要があることを報告。

(7) 平成15年度評議員会経費について報告。

(8) 学術講演会講師派遣交通費の支出について１件報告。

(9) 12月16日開催の三葉会で，次年度からは主に臨床研修医を対象に協議することで合意を得た。卒後研修セミナー，臨床研修医の見学リスト，従たる施設の検討については継続して行うことを報告。

(10) 平成15年度逝去会員は12月17日現在で累計110名，規定により弔慰共済金を贈呈したことを報告。

(11) 12月10日にゴルフ委員会を開催し，次年度同窓会主催全国ゴルフ大会は，８月26日相模原カントリークラブで行うことを報告。

(12) 本会と大学および在校生との交流をより一層深めるために，三葉会に厚生部の協議の場を設けてほしいことを要望。

協議事項

(1) 同窓会費および共済負担金納入延期願いについて１件承認。

(2) 平成16年度第１回理事会日程について検討の結果，決定。

(3) 本会会則一部改正（平成16年１月１日施行）について次期執行部に引き継ぎたいことを述べ，改正箇所を確認して引継ぎを了承。

(4) 東歯関係日歯役員・代議員，都道府県歯会長との懇談会の開催回数について協議の結果，次期執行部に委ねることで了承。

(5) 他大学出身の大学院修了者および臨床研修修了者の本会入会について協議の結果，次期執行部に引き継ぐことで了承。なお，この件に関しては委員会を設置して対処する必要があることを説明。

(6) 会費納入システムの変更に関連して会員あての受領証の受領印は黒とすることを決定。氏名の記載については再度協議することで了承。

(7) 平成16年度私立歯科大学（歯学部）学費一覧について説明。他校の学費と比較の結果，本学学費は低額であることを確認。

(8) 逝去会員へ贈呈する生花の価額について協議の結果，次期執行部で協議することを了承。

庶　務　日　誌

1月

1)　理事会

1月17日(土)　第1回理事会

2)　委員会

1月15日(木)　広報部委員会（会報編集）
15日(木)　学術部委員会（プログラム委員会）
19日(月)　学術部委員会（運営委員会）
26日(月)　学術部委員会（企画委員会）

3)　出　張

1月9日(金)　千代田支部新年会　大友副会長出席
10日(土)　日本大学歯学部同窓会新年会　梅田副会長出席
11日(日)　東京医科歯科大学新年名刺交換会　渡辺副会長出席
16日(金)　芝支部総会ならびに新年懇親会　天野会長出席
17日(土)　東京地域支部連合会新年交歓会　天野会長出席
24日(土)　杉並支部新年交歓会　梅田副会長，増田常任理事出席
24日(土)　世田谷支部新年会　天野会長出席
26日(日)　麹町支部学術講演会
講師・関根秀志講師（母校）
30日(金)　浅草・下谷支部合同新年賀詞交歓会　天野会長出席

2月

1)　理事会

2月18日(水)　第1回常任理事会

2)　委員会

2月6日(金)　学術部委員会（プログラム委員会）
9日(月)　学術部委員会（運営委員会）
13日(金)　広報部委員会（会報企画）
16日(日)　情報部準備委員会

3)　出　張

2月11日(水)　埼玉県支部新年会
14日(土)　宮崎県支部学術講演会
講師・井上　孝教授（母校）
21日(土)　北多摩支部総会・懇親会　天野会長出席
22日(日)　三重県支部総会　安藤常任理事出席

■　血脇守之助先生のホームページ開設

東京歯科大学の建学者であり，日本の歯科界を創り上げた血脇守之助先生のご功績を広く知ってもらうための方策のひとつとして，母校において血脇先生のホームページが開設されました（製作担当：調査室）。

http://www.tdc.ac.jp/chiwaki/

血脇先生の生涯や野口英世博士との不思議な縁などをまとめ，血脇先生の生誕日である明治3年2月1日にちなみ，本年の2月1日より公開されております。同窓の皆様におかれましても，ぜひご覧いただき，血脇先生への思いを深めていただければ幸いです。

また，母校では血脇先生に関する資料・情報を集めております。特に血脇先生がお書きになった「書」等についての情報がございましたら母校調査室までお教えいただければ幸いです。

電話　043－270－3739（調査室直通，山岸または浦田）

メール　chousa@tdc.ac.jp

追　悼　記　事

五十嵐名誉会長を悼む

池　田　　漠（昭和34年卒）

“生者必滅,会者定離”とは言え，昨年12月25日，名誉会長五十嵐堯昭先生が享年90才で他界されました。同窓会会員一同謹んで哀悼の意を表します。

先生は大正２年11月４日東京淀橋区戸塚町にお生まれになり，昭和11年３月東京歯科医学専門学校を卒業され，母校保存学教室におよそ７年間在籍し，その後昭和22年に静岡県熱海市に開業されました。平成12年に廃院されるまで53年間歯科医療に貢献され，地域住民から尊敬され親しまれてきました。

この間，日本歯科医師会におかれましては，専務理事（S36年Ⅰ期），常務理事（S35年，S43年Ⅱ期），代議員（S32年，S50年，S54年Ⅲ期）の要職を務め，静岡県歯科医師会においては，副会長，理事をはじめとし各種の役職に就かれご活躍されました。昭和54年には藍綬褒章，昭和62年には勲五等双光旭日章を受章されました。

同窓会におかれましても７期14年間役職にあり，平成２年から平成７年まで会長として同窓会発展のために尽力されました。３期目の会長の時には，記念すべき同窓会100周年事業を成し遂げ，その功績は高く評価されています。

不肖私も同窓会の役職に就いており，各地域支部の出張には何回となく五十嵐先生に帯同いたしましたが，そのバイタリティーには感服いたしました。各地域支部の懇親会でご相判にあずかり，酒量もほどほどで部屋に帰ろうとすると，「池田君，僕の部屋で反省会をしようよ」と声をかけられ，三次会に延長することが度々でした。先生は早稲田中学時代に左腕の投手として活躍され，東歯に在学中に６大学の野球部から左腕投手として練習試合に招聘されたと聞き及んでいます。永年にわたり要職をこなされた先生の活力の根源は，若い時代に培った健康だったように思えてなりません。

幽明境を異にした今となっては，酒を酌み交わしながらご指導をいただくわけにはまいりませんが，同窓会の発展のため，幽界からご加護くださいますよう念願し，追悼の一筆を捧げます。

（副会長・専務理事）

母校だより

石川達也学長の年頭挨拶

暖かく輝く太陽の日で迎えた平成16年新春の仕事始めは，１月５日(月)午前９時30分より千葉校舎講堂において行われた。大勢の教職員・医療職員・事務系職員・大学院生・歯科臨床研修医などを前に登壇した石川達也学長は，「時代は大きく変わりつつあり，その速度も急激である。本学も教育改革が進んでおり，職員一丸となり一層努力していただきたい。また，医科では本年４月より義務化された臨床研修医制度がスタートする。歯科においては平成18年度より法制化されるが，全人的医療を目指すものであり，その成果は大学の評価にも繋がるものである。関係各位の努力により，他大学に誇れる設備も充実してきているので，ぜひ成果を挙げてほしい」と力強く熱く職員に語りかけ，10時15分学長の年頭挨拶は終了した。

千葉校舎第１～５教室の改修工事実施

千葉校舎第１～５教室のマルチメディア化を進める改修工事が，平成15年度の夏期休暇期間中に行われた。教室の設備は，昭和56年の千葉校舎開校時の設備のまま今日に至っていたが，今回，映像提示システムを中心にマルチメディア化・デジタル化工事を実施した。各教室には，従来のスライド映写機，VTR の他，ビデオプロジェクターや DVD プレイヤー，書画カメラ等を設置し，扱いやすいタッチパネルによる操作盤が設けられた。

第１，２教室には，LAN，サーバ，ノート PC を収納できる机を配置し，共用試験 CBT にも対応できる設備が整い，また，教室の前後に設置したビデオカメラ，授業録画用 VTR により，双方向講義や将来的には遠隔講義も実施可能な設備が整えられた（大学広報203号より転載）。

タッチパネルが備えられた操作卓，千葉校舎実習講義棟第２教室

改修された実習講義棟第２教室

絵の寄贈に感謝（その２）

東京歯科大学美術部（白亜会）部長

大学院研究科長　奥　田　克　爾

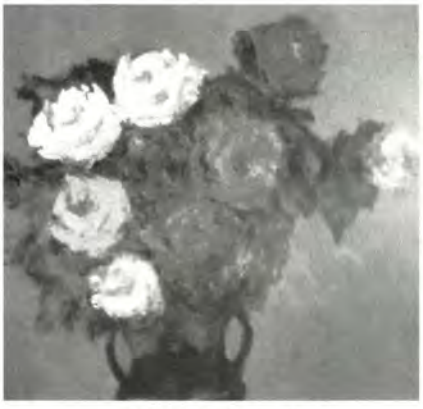
同窓会の先生に東京歯科大学の千葉病院などの患者が安らぎの気持ちになれる風景画や明るい花の絵画を寄贈していただきたくお願いしています。今回は，その２として同窓会の先生が愛蔵されておられたものや描かれたもの，白黒写真で実物の良さを見ていただけませんが掲載させていただきます。

寄贈いただいた渡辺孝夫先生（昭和20年卒，五十一期会）の絵は，大原省三画伯の「初秋」６号です。紅葉の長野県戸隠高原です。晩秋の澄んだ風が感じられる傑作です。

同窓の先生が描かれたものとしては，昭和24年卒（いとし会）皆川明先生の「山里の風景」20号，「漁港」20号ならびに「バラ」10号の３点を簡単に紹介させてもらいます。皆川先生のお住まいの新潟県三条市は，自然に恵まれています。山里の風景は，手前の緑と山の雪が見事なコントラストになって浮かんでいます。また，漁港は，日本海ならではの海の深い色や山並みが見事に描かれています。幾艘もの漁船や砂浜には広大さを感じ取ることが出来ます。さらに，バラは，重厚な額のなかで生き生きとした静物画になっています。

私の素人的な印象だけでなく，ぜひ同窓の先生にも千葉キャンパスにおいでの際に，実物を鑑賞していただきたいと思っています。

大原省三「初秋」



皆川　明「バラ」

皆川　明「漁港」

皆川　明「山里の風景」

水道橋病院の今

口腔外科の現況と取り組み

水道橋病院口腔外科　柿　澤　　卓

最近の社会情勢とも相俟って，歯科界を囲む話題にもあまり明るい話は聞かれないようです。水道橋病院も厚労省，東京都等の共同指導を受け，健康保険行政の厳しさを実感させられたのは，まだ記憶に新しいところです。しかし水道橋病院にはこのようなことばかりでなく，幾つかの明るい話題もあります。

その第一は，市場調査会社オリコンの首都圏における，医科も含めた医療機関ランキングで上位に格付けされたことです。計らずもこのような評価を得たことは，スタッフ全員の日頃の努力の結果でもあり，同時に病院の大きなプラスファクターであります。第二は，口腔インプラント科の設立でありましょう。今までは病診連携の形で取り組んできましたが，関根秀志講師を主任に診療科として発足した訳です。口腔外科はインプラントの土台となる顎骨を作るため，顎堤形成やサイナスリフトなどの外科的側面でバックアップしてまいりたいと思っております。またこの種の症例紹介の増加も期待されます。

ついで私が挙げたい第三の話題は，水道橋病院口腔外科が日本口腔外科学会認定研修機関となったことです。現在当科は，本務医局員８名，病院助手14名の計22名（指導医３名，専門医４名）で構成され，外来チェアー16台，病床20床の施設で外来入院診療を行っております。平成14年度口腔外科の新患数は6,599人，入院手術数534例で，首都圏の大学病院にも退けをとらず，今回の施設認定は少々遅きに失した感があります。しかし今後は水道橋病院口腔外科独自で口腔外科専門医の申請，取得ができ，若い医局員の大きな励みになると考えております。なお，口腔外科新患のうち紹介が９割近くを占めておりますが，このように認定施設になれましたのも，患者さまを紹介くださる同窓の先生方のご協力の賜と感謝しております。

さて，口腔外科はこのような状況の下で診療しておりますが，最近の症例の動向について少し触れておきます。最近目立って増加した手術は，顎変形症手術で，昨年は126例におよびました。矯正科とカンファレンスを定期的に設け手術を行っており，技術的にも向上し手術時間，出血量とも大変少なく押さえられるようになりました。また，当科では初期癌に限り手術を行っておりますが，昨年からは術中迅速病理診断ができるようになりました。本法によって確実な切除範囲を決定でき，月におよそ２例の割合で悪性腫瘍手術を行い良好な結果を得ております。なお，やはり最も多いのは抜歯ですが，埋伏智歯抜歯のリスクが大きいことを認識していただけるようになったことや，掘り出してみると意外に歯科恐怖症の方が多いことなどからか，静脈鎮静下で抜歯し，短期入院を希望する方が大変多く，患者さまの評判も大変よいようです。一方，医療事故に対する反応も大変厳しくなり，特に抜歯後の神経麻痺には，パンフレットを用意し最大限の注意を払っております。

最後に，以上のような事柄や，臨床医の先生方が日常診療で興味をおぼえる臨床のヒントなどを取り上げ，医局員が発表する第三回水道橋病院口腔外科症例報告会および懇親会を今年も４月15日（木）［血脇記念ホール，水道橋グリーンホテル］に予定しております。是非ご参加ください。

●博士（歯学）学位記授与

第491回(平12.12.6)合格　第519回(平15.6.11)授与
武田宇央（オーラルメディシン）（第1462号・甲813号）
第500回(平13.10.10)合格　第519回(平15.6.11)授与
髙木一郎（補綴Ⅰ）（第1504号・甲841号）
第503回(平14.1.9)合格　第519回(平15.6.11)授与
佐野浩史（衛生）（第1513号・乙667号）
第507回(平14.5.8)合格　第519回(平15.6.11)授与
江口　淳（微生物）（第1524号・乙668号）
第518回(平15.5.7)合格　第519回(平15.6.11)授与
山田惠美子（生理）（第1562号・乙681号）
第492回(平13.1.17)合格　第520回(平15.7.9)授与

原口孝之（オーラルメディシン）（第1463号・甲814号）
第510回（平14. 9.11）合格　第520回（平15. 7. 9）授与
増田浩之（保存Ⅱ）（第1533号・甲860号）
第488回（平12. 9. 6）合格　第521回（平15. 9.10）授与
宮地建次（歯　麻）（第1451号・甲808号）
第491回（平12.12. 6）合格　第521回（平15. 9.10）授与
奥田みのり（歯　麻）（第1461号・甲812号）
第509回（平14. 7.10）合格　第521回（平15. 9.10）授与
雨宮　啓（歯　麻）（第1531号・甲859号）
第515回（平15. 2.19）合格　第521回（平15. 9.10）授与
井原聡一郎（保存Ⅲ）（第1545号・甲870号）
第516回（平15. 3.19）合格　第521回（平15. 9.10）授与
高木　亮（理　工）（第1552号・甲875号）
津守將充（保存Ⅲ）（第1554号・甲877号）
中島　修（解剖Ⅱ）（第1555号・乙678号）
木村晃大（解剖Ⅱ）（第1556号・乙679号）
第518回（平15. 5. 7）合格　第521回（平15. 9.10）授与
小林　誠（矯　正）（第1559号・甲879号）
第504回（平14. 2.20）合格　第522回（平15.10. 8）授与
丸山　澄（法　歯）（第1515号・甲848号）
第508回（平14. 6.12）合格　第523回（平15.11. 5）授与
井出勝久（理　工）（第1528号・乙671号）
第515回（平15. 2.19）合格　第523回（平15.11. 5）授与
薬師寺　孝（口外Ⅰ）（第1546号・甲871号）
第520回（平15. 7. 9）合格　第523回（平15.11. 5）授与
孫　賢宣（理　工）（第1571号・乙686号）

●人　事

○教育職員関係

退職	助手	三笠貴彦	（市病整形外科）	15. 6.30	
〃	〃	田中宏明	（市病産婦人科）	〃	
〃	〃	野本佳子	（市病内科）	15. 8.31	
〃	〃	廣瀬理子	（水病保存科）	15. 9.30	
〃	〃	中村啓二郎	（市病消化器科）	〃	
〃	〃	佐久間雄一	（市病産婦人科）	〃	
辞任	病院助手	赤羽直子	（市病眼科）	15. 8.31	
〃	〃	許斐健二	（〃）	〃	
〃	〃	末原正崇	（保存Ⅰ）	15. 9.30	
〃	〃	黒田政道	（〃）	〃	
〃	〃	鈴木道子	（保存Ⅱ）	〃	
〃	〃	井上敬介	（補綴Ⅲ）	〃	
〃	〃	副島詩子	（歯科矯正）	15.10.31	
〃	〃	田中まり	（市病眼科）	〃	
採用	助手	長田高志	（市病内科）	15. 6. 1 ～18. 5.31	
〃	〃	下川理世	（市病産婦人科）	〃	
採用	助手	松崎達	（市病内科）	15. 7. 1 ～18. 6.30	
〃	〃	碓氷樹理	（市病小児科）	〃	
〃	〃	川北敦夫	（市病整形外科）	〃	
〃	助手	岸郁子	（市病産婦人科）	〃	
〃	〃	上原克彦	（〃）	〃	
休職	助手	木津康博	（オーラルメディシン）	15. 8.28 ～15.11.30	
〃	〃	市之川浩	（保存Ⅰ）	15. 9. 1 ～18. 8.31	
〃	〃	杉戸博記	（保存Ⅱ）	15.10. 1 ～16. 3.31	
復職	助手	縣秀栄	（歯科麻酔）	15.10. 1	

助手の再任用

	助手	清水桜	（市病放射線科）	15. 9. 1 ～18. 8.31	
〃	〃	森崎重規	（オーラルメディシン）	15.10. 1 ～18. 9.30	
〃	〃	中野雅	（市病消化器科）	〃	

助手の新規任用

復職	助手	末原正崇	（保存Ⅰ）	15.10. 1 ～18. 9.30	
〃	〃	鈴木道子	（保存Ⅱ）	〃	
〃	〃	井上敬介	（補綴Ⅲ）	〃	
〃	〃	中村健太郎	（市病消化器科）	〃	
任用	非常勤講師	北条健三	（千　病）	15. 6. 1 ～16. 3.31	
〃	〃	山崎武雄	（〃）	〃	
〃	〃	望月彰	（〃）	〃	
〃	〃	佐藤浩一	（〃）	〃	
〃	〃	鷹股哲也	（スポーツ歯学）	15. 7. 1 ～16. 3.31	
〃	〃	小澤俊彦	（薬　理）	15.10. 1 ～16. 3.31	
〃	病院助手	小林誠	（歯科矯正）	15. 6. 1 ～16. 3.31	
〃	〃	花上伸明	（オーラルメディシン）	〃	
〃	〃	田聖花	（市病眼科）	15. 9. 1 ～16. 3.31	
〃	〃	角環	（〃）	〃	
〃	〃	及川佳美	（保存Ⅰ）	15.10. 1 ～16. 3.31	
〃	〃	宇井一裕	（保存Ⅱ）	〃	
〃	〃	本多勇一	（〃）	〃	
〃	〃	堤洋子	（〃）	〃	
〃	〃	佐竹良之	（市病眼科）	〃	
〃	〃	塩見周平	（口外Ⅱ）	15.11. 1 ～16. 3.31	
〃	〃	冨田真智子	（市病眼科）	〃	
昇任	助教授から教授へ	角田正健	（保存Ⅱ）	15. 6. 1	
	助手から講師へ	宮崎晴代	（水病矯正歯科）	15. 7. 1	
		嶋香織	（病　理）	15.10. 1	
	講師から助教授へ	花岡洋一	（法歯学）	15. 8. 1	
		澁川義宏	（保存Ⅱ）	15.11. 1	
		外木守雄	（オーラルメディシン）	〃	

支部のうごき

北陸地域支部連合会

総会

東京歯科大学同窓会北陸地域支部総会・学術講演会が，平成15年11月１日(土)午後３時30分より福井市の「ユアーズホテルフクイ」にて，本学同窓会本部より金子雅英副会長，奥川澄夫北陸地域理事，本学より野間弘康副学長，また学術講演会講師として地元福井県ご出身の東京歯科大学市川総合病院オーラルメディシン学講座山根源之教授の４名のご来賓の先生方においでいただき，さらに北陸三県より30名の同窓会会員出席のもと盛大に開催されました。

まず，山根教授により「知っておきたい歯科小手術のＡＢＣ」の演題のもと普段の臨床に直結したまさに目からウロコの落ちるような講演会がおこなわれ，参加の各先生方も熱心に聞き入っていました。

続いて山口一郎福井県副支部長の開会の辞により総会が開催され，物故会員への黙祷，三宅淳一福井県支部長による当番県挨拶の後，金子同窓会副会長による本学同窓会の近況報告，野間副学長による本学近況報告ならびに奥川地域理事による挨拶と来賓各位のお話をいただき，記念品贈呈（新米「華越前」），協議事項の承認と滞りなく総会をすすめることができ最後に次期開催当番県の釣谷東民富山県支部長の挨拶にて総会を終了しました。

全員での記念撮影の後，栗山豊實富山県歯科医師会会長の乾杯のご発声により懇親会となり，テーブルごとに，あるいは，おいしい料理もそこそこに席を離れての和気藹々とした懇談風景が会場のあちらこちらで見受けられました。また，金子副会長，野間副学長の両先生によります「東京歯科大学予科逍遥歌」のご披露もあり，懇親会の時間はあっという間に過ぎていきました。宴もたけなわの内に終了予定の時間となり，山口忠臣先生指揮による校歌斉唱，続けて出席最高齢の中村　義先生の万歳三唱の後，無事総会・学術講演会を終了いたしました。

（森本一良 記）

近畿地域支部連合会

第56回近畿連合同窓会

平成15年11月23日，第56回近畿連合同窓会が大阪府の当番でホテルアウィーナ大阪において開催されました。会員，家族の出席が63名。来賓として同窓会から天野　恵会長，池田　漠専務理事，高田　恬理事，大学から，石川達也学長，橋本正次助教授をお迎えました。

総会は楢本浩二先生の開会の辞で始まり，校歌斉唱，黙祷と続き徳永昭夫大阪府支部長の挨拶。昭和22年に始まった京阪神連合同窓会の歴史について述べられました。来賓の挨拶に移り，天野会長が次期も続投されることになったこと，石川学長は大学の現状について，池田専務理事は同窓会の現況及び将来への展望について，高田理事は近畿地区の現況について，それぞれ有意義なお話をしていただきました。

報告事項，協議事項とスムーズに会議が進み，次期の当番県である，吉田朔也兵庫県支部長の挨拶後，粟田正人先生の閉会の辞で総会が終了されました。

この後，法人類学研究室助教授の橋本正次先生による学術講演「身元確認における歯科医師の役割について」は，大変緊張感のある内容で，90分ではとても足りませんでした。

この後記念撮影があり，部屋も4階に移動して，田丸秀夫先生の開宴の辞，兵庫県林　幹雄先生の乾杯の音頭で懇親会の始まり。コンパニオンで華やぐ会場，徳永支部長によるマジックショーや大抽選会等もあり，会場はおおいに盛り上がったことでした。

翌24日には，兵庫県の鳴尾ゴルフ倶楽部において，24名の参加者でコンペが開催されました。優勝は大阪府の山本勇一先生。準優勝は兵庫県の松本啓道先生でした。天気もぎりぎりもって，楽しい一日を過ごしました。

（西尾敏生 記）

徳永（昭）大阪府支部長のマジック

徳永支部長と女性陣

静　岡　県　支　部

第63回定時総会

平成15年12月７日(日)午後２時より，ホテルアソシア静岡ターミナルに於いて東京歯科大学同窓会静岡県支部第63回定時総会が，来賓に東京歯科大学麻酔学講座教授一戸達也先生，同窓会副会長大友　好先生，日本歯科医師会代議員太田昭二先生，静岡県歯科医師会副会長土屋善博先生，静岡県立大学短期大学部教授田中丸治宣先生，同教授有泉有吾先生をお迎えして開催されました。

総会は大津憲一副支部長の開会の辞により始まり，喜田正昭支部長よりこの２年間の感謝の挨拶がありました。物故会員に対する黙祷，来賓紹介と続き，来賓挨拶では大友副会長から天野同窓会長が再選された等の評議員会報告がありました。その後議長選出となり植田昭夫先生が議長に，山田　進先生が副議長に選出され，議事に移りました。議案はスムースに可決され次期支部長に大津憲一先生を選出し，浅野尹男先生の閉会の辞で無事終了しました。

続いて「歯科局所麻酔・安全で快適な歯科治療のために」と題する一戸達也先生の講演がありました。痛くなく，かつ高い効果のある局所麻酔をいかに行うかという臨床に直結する内容で大変分かりやすく為になりました。講演の最後に大学の現状について話され，本年現役の国家試験の合格率が100%だったこと，大学の教育内容が変わってきていることなど話されました。今の学生はつくづく大変だなと思った次第です。

講演後は会場を移し，竹下　眞副支部長の開会の辞，太田日歯代議員，土屋県歯副会長の挨拶の後，本日最年長の坂本豊美先生の乾杯の発声により懇親会が始まりました。各テーブルに懇談の輪が広がりました。最後は恒例となりました荻原英生先生指導によるエール，校歌斉唱で大いに盛り上がり，浅野尹男副支部長の閉会の辞により，喜田執行部最後の仕事が終りました。執行部の先生方ご苦労様でした。

（森　泰彦 記）

神奈川県支部連合同窓会

平成15年度定時評議員会・総会

12月7日(日)，横浜ローズホテルにて，平成15年度の定時総会・評議員会が開催された。

評議員会冒頭，関　泰忠会長は評議員各位の協力に感謝した。その後，森田稔彦評議員会会長を議長に議事が進行し，各種報告が行われた。また本年度の逝去会員に黙祷が捧げられた。未入会者の現況や対策についての質疑応答がなされた後，中村昭仁監事より監査報告があり，各種報告は承認された。続いて各議案が提出され，すべて可決された。その後，執行部より役員改選期の変更と連合同窓会会費値上げについての協議題が提出された。役員改選期の変更については，各種選挙への迅速な対応を目的に，本部会費との兼ね合いも考慮し，一年役員改選期をずらしたいとの理由説明があった。会費値上げに関しては，会員の高齢化と新入会員減少のなか，会務執行上支障がでる懸念があり，現行の七千円を一万円にしたいと提案があった。評議員会は，協議題に対し執行部で更なる検討の上，次期総会での適切なる対応を執行部にもとめた。

その後，研修会が行われた。今回は県歯常任幹事の加藤木　健本会副会長が「神奈川県歯科医師会福祉共済制度について」，また県歯医事処理検討部会副部会長の関本会会長が「ここまできている患者さんの訴え」の講演を行った。時間の関係で十分なお話を聞くことができず残念であった。

研修会終了後，本部同窓会会長代理の鈴木　裕同副会長，井上　裕理事長，石川達也学長を来賓にお招きし会員113名が出席し，総会が開かれた。まず関会長は執行部発足からの経過を話し，「懇親主体の同窓会から医療保険改革の情報の提供や対応など会員の益になる同窓会を目指したい」と挨拶した。つづいて鈴木副会長が，常日頃の本部同窓会への協力に対し謝辞を述べられ，情報部会と保険部会が総務から独立した経緯や経費節減を考慮した天野執行部の方針と現況をお話された。井上理事長は，永年の議員活動への支援を感謝すると共に，後半生は大学運営に捧げる，との決意を述べられた。最後に石川学長は，三葉会発足，学生教育や研究面での大学の近況等をお話された。来賓からご挨拶をいただいた後，関会長から浜野文夫前会長へ記念品が贈られた。その後，佐久間博一評議員会副会長を議長に総会審議が始まり，森田評議員会会長の評議員会報告をはじめとした各種報告が行われた後，各種議案が慎重審議の上すべて承認された。また役員改選期と会費値上げに関する協議題が執行部から説明され，評議員会同様，執行部で充分な検討の上，来るべき総会での提案を期待された。また，笹井ひろふみ次期参議院候補が駆けつけ決意表明された。

総会に続き，井上理事長，石川学長と共に，大森一昌県歯会長をはじめとした来賓各位をお招きし懇親会が行われた。矢島敏夫相談役の乾杯の発声で，和やかなうちに会は進み，途中，敬老祝賀会員へ記念品の贈呈が行われた。恒例の榊原悠紀田郎会員の音頭で校歌を斉唱し閉会した。

(広報　鈴木信治・渡邊宇一 記)

茨　城　県　支　部

定時総会

平成15年12月７日(日)，水戸市三の丸ホテルに於いて東京歯科大学同窓会茨城支部総会が開催されました。県内同窓会員40名の出席があり，年末大変ご多忙の中，東京歯科大学同窓会常任理事安藤三男先生，地区理事久保木康輔先生，大学から東京歯科大学薬理学講座川口　充教授の３名の先生方のご臨席を賜り盛大に開催されました。

副支部長大金正幸先生の開会の辞，物故会員弔慰後，茨城県支部長上野　光先生のご挨拶に続き，本部常任理事の安藤三男先生から本部の現況及び全国の支部重視の施策，保険部と情報部の新設当の報告，川口充教授からは大学の現況について，教育，研究，病院での診療の説明がありました。また国家試験の変更について本学の状況及び入学試験の現況に関して詳細にお話いただきました。

その後，本年度勲五等瑞宝章の栄に浴されました泉川　勇先生の顕彰式が執り行われました。また鈴木謙介先生，竹上賢一先生２名の新入会員の紹介がありました。

議事に入り，議長の中川　暁先生のもとに14年度の決算報告，16年度の事業計画と予算が承認され，須田晃副支部長の閉会の辞で総会を無事終了しました。

続いて，川口　充教授から「基礎疾患に対応した歯科薬物療法の考え方」の題目で１時間30分にわたり講演をいただきました。

写真撮影の後，懇親会に移り，来賓の先生を囲んで和やかなうちに懇親会は進み最後に校歌斉唱をして，有意義な１日に幕を閉じることができました。

(山添雅夫 記)

横浜西部支部

一泊総会・懇親会

平成15年11月19日(水)，瀬谷区の辻村育郎君と山之内正己君が幹事となり，湯本富士屋ホテルにおいて，総会が開催された。今回は会員23名の参加があった。

午後5時より，辻村育郎君の司会のもと総会が開かれ，高階皓三支部長の開催の挨拶が行われた。続いて萩原　功君より会計報告がされた後，島村　大君より神奈川支部連合同窓会の総会，学術講演会等についてのお知らせがなされた。

総会終了後，学術講演会が行われた。今回は，東海大学医学部助教授の太田嘉英先生をお招きして，「口腔粘膜疾患について」との演題にて，講演が行われた。主に，口腔扁平上皮癌の臨床像と，その裏付けを理解するということで，症例のスライドを交えながら肉眼所見，組織像等からの癌を見逃さないための診断のし方，また，太田先生ご自身の手術症例のスライドも見せていただき，会員皆，講演の内容にくぎ付けになっている様子であった。

講演会終了後，場所を宴会場へ移し，再び辻村育郎君の司会のもと，宴会が始まり高階支部長の挨拶の後，山之内正高君の乾杯の発声で宴に入った。皆，お酒が進み，会話も弾んで終始和やかな雰囲気であった。途中，次回幹事の保土ヶ谷区の増田裕子君が挨拶を行った。宴会も盛り上がり，皆，時間が経つのも忘れ，宴もたけなわであったが，杉山紀子神奈川県支部連合同窓会副会長の閉会の辞をもって終了となった。その後，記念撮影を終え，二次会，三次会と各会員，楽しい夜を過ごした。

(中島清司 記)

横浜南部支部

定時総会・講演会・懇親会開催

平成15年12月13日(土)午後6時30分より，横浜南部支部の定時総会・講演会・懇親会が，来賓に神奈川県支部連合同窓会の杉原　惇副会長(横浜北部支部)をお招きして，横浜上大岡京急百貨店内バンケットルーム「リバージュ」で行われた。

総会は，鈴木信治専務理事の司会により進行された。冒頭，玉井達人会長より，新会長となった1年間を振り返ってご挨拶があった。

ついで，来賓の杉原副会長より，未入会者の増加や，会費の値上げ，役員改選期の変更等，現在県連合同窓会が抱える諸問題を織り交ぜてご挨拶いただいた。

その後，浜野弘規総務担当理事より各種報告がなされ，逝去会員に対して黙祷が行われた。ついで新入会員の紹介の後，本年古希を迎えられた渡邊渥美会員，日歯100周年記念会員歴50年以上・地域保健活動貢献者，酒井惣一郎会員，西崎浅次郎会員に対して記念品が贈られた。ついで，甲田正治会計担当理事より会計報告があった。その後，会費値上げ

等の議案が出され，可決承認された。

懇親会に先立つ講演会では，「小さな生きものを友として」の演題で，山下正雄会員にご講演いただいた。山下会員は，少年の頃，田圃が広がる戦前の横浜で，めだかやとんぼを追いかけ回していたが，いつしかそれが病みつきになり，次第にそれら小動物の飼育に情熱を燃やすようになられた。とくにめだかの飼育にかけては，現在横浜では有数の達人で，めだかを自然と同じ状態で育て上げるには，よい「水」が肝要であるとの持論をお持ちである。そしてよい「水」を造るためには，水生植物が必要不可欠で，その方面の研究を進めるうち，次第に食虫植物の魅力に取り憑かれ，いまでは毎朝早起きされ，診療の前に食虫植物のお手入れをされるほどの熱の入れようだそうである。

また折しも，丁度黄色い可憐な花を咲かせた食虫植物（タヌキモ）数種をご持参され，皆の目を楽しませた。そして，今後世界は本格的な水不足の時代に突入する可能性があり，その「水」の大切さを強調されて，話の締めくくりとされた。

懇親会では，美味しい和食に舌鼓を打ちながら，相互に親睦を深め，定刻をだいぶ過ぎたころ，お開きとなった。

（渡邊宇一 記）

栃　木　県　支　部

定時総会

支部長に斎藤　哲先生を再選

平成15年12月７日(日) 宇都宮市ホテルフェアシティにおいて標記総会が開催された。森下　洋常任幹事の司会の元，牟田紀一副支部長が開会の言葉を述べると，平成15年６月３日に逝去された小川いずみ先生を悼んで全員が黙祷をささげた。

支部長挨拶のなかで斎藤　哲支部長は，支部行事等を報告するとともに次期参議院議員選挙に触れ，会員に協力をお願いした。

来賓祝辞では，渡辺公武同窓会常任理事より同窓会の現況や臨床研修医制度への取り組みについてお話しいただいた。また，野間弘康副学長からは大学の現状や大学を取り巻く環境について詳細なご報告をいただいた。

水野銀三先生を議長に選出し議事に入ったが，各種報告，議案ともに滞りなく承認された。また，今回は役員改選が行われ，現支部長の斎藤哲先生が再選された。

顕彰式では文部科学大臣表彰を受章された大久保雅順先生，厚生労働大臣表彰を受章された岡本全弘先生を讃え，顕彰状と記念品が贈呈された。

田中　徹副支部長の閉会の言葉で総会は終了し，記念講演に移った。関谷和夫副支部長の進行のもと，４名の同窓の先生方に『私の学生時代』と題してご講演いただいた。

戦争一色の時代のなか，常に死と直面して生きていた岡田一郎先生（昭和19年卒），敗戦前後の混乱期，疎開先の秋田県や焼け野原の東京での学生生活を振り返った井上純一郎先生（昭和24年卒），臨床実習は足踏みエンジン，大学病院は電気エンジン，キャストは「くさりがま」時代の神山　登先生（昭和27年卒），演劇部に所属し「ほとんど芝居をやっていた予科時代」を話してくださった落合雅雄先生（昭和32年卒）。それぞれ懐かしく貴重な体験談に，一同興味深く聞き入っていた。

懇親会は藤森　洋常任幹事の司会のもと，田中　徹副支部長の挨拶，椎貝敏夫先生の音頭による乾杯で幕を開けた。途中，ご多忙のなか駆けつけてくださった新井　武県歯会長，臼田貞夫日歯会長のご挨拶を賜り，最後は全員で校歌を斉唱して盛会のうちにお開きとなった。

（井上清志 記）

岐　阜　県　支　部

平成15年度支部定例総会開催

平成15年12月８日午前10時より岐阜市ホテルグランベール岐山において同窓20名の出席を得て会を開催した。

小川敏彦副支部長の開会の言葉に続き一昨日天に召された橋本信也会員への追悼黙祷を捧げ，古田支部長挨拶と本部報告，大橋雅人幹事の会計報告を受け西尾有生先生を議長に議事，協議を終えて西堀　修副会長の言葉で閉会した。

記念講演「記者の目から見た日本」と題して講師小出宣昭氏（中日新聞編集局長）の講演を聞いた。氏は月４回のコラムタイプの私見をグローバルな視点から「編集局デスク」というスペース名で発言されている。ここ東海地域では人気のあるコーナで，いつも川岸から川を，空から山を，世界から見る日本，のように物事を客観視されていて真を突いているようで面白い。講演は当然記念に相応しくひどく心に感じた。

記念写真はここ何年かアマチュア撮影ですごしている。了後岐阜県歯科医師会長横山先生を交えて懇親会に移った。10日ほど前テレビで「90才にして現役歯科医」として紹介された高木重雄先生の乾杯の音頭で始まった宴は有意義に過ぎ，国島真希子（岐阜市中心で月１回開催同窓会＝水橋会すいきょう会の幹事さん）先生の指揮で「校旗は燦たり」を高らかに斉唱，永田大先輩の万歳三唱で会を終えた。

当日出席者

高木重雄，永田　晋，鵜飼兵衛，森　耕一，国島義郎，大橋　昭，伊藤成章，古田一男，柳澤敏夫，酒向利純，大橋雅人，国島真希子，小川敏彦，西堀　修，高井稔郎，中島良成，林　玲三，西尾有生，正村一人，大野満知子

（酒向利純 記）

滋賀県支部

平成15年度総会

さる12月７日，大津市琵琶湖ホテルにて「平成15年度東京歯科大学同窓会滋賀県支部総会」が開催された。当日は20余名が参加し，来賓として本学歯科保存学第三講座の平井義人教授のご臨席を賜った。

まず，高橋義弘副支部長の開会の挨拶にはじまり校歌の斉唱，物故会員への黙祷，住井泰之支部長より挨拶と続いた。この後，平井教授から本学の近況報告がなされた。本学も日々変化する社会状況にあわせてコンピュータによるオンライン教育を重視，カリキュラムに対応するように設備の改編も積極的に実施，また一方で人間関係に重点をおいたオスキー試験を取り入れ，患者とのコミュニケーションを大切にした歯科医師の養成に力を注いでいるので是非一度，本学に足を運んでいただきたい，とのお話をいただいた。また，昨年の国家試験では100%の合格を得，今後も頑張っていきたいとの決意で報告を締めくくられた。

続けて住井支部長を議長に選出，議事が進められ，各議案とも可決承認された。休憩を挟んだ後「保存修復における審美修復材料と合着・接着材料について」という演題で平井教授に学術講演を賜った。日々の臨床で最も使用頻度の高い審美修復材料，合着，接着材料のワンポイントアドバイスにはじまり，先生の研究テーマのひとつであるラミネートベニアの詳細な臨床報告がなされ，明日からの臨床に有益な講演会となった。その後，場所を移して懇親会が開催された。平井先生は兵庫県出身で本学関西人会ということもあり，なごやかな雰囲気のなか大いに盛り上がった。この時ばかりは歳の差も関係なく本音が飛び交うなか，本学卒業生としての結束と一体感を感じながらの楽しいひとときを過ごした。

（住井浩剛 記）

熊 本 県 支 部

学術講演会及び『蘇山会』総会

東京歯科大学同窓会熊本県支部『蘇山会』の平成15年度の総会が去る12月６日(土)，熊本交通センターホテルに於いて開催された。

総会に先立ち松田光正（60年卒）の司会で，中根俊吾熊本県支部長（35年卒）の挨拶後，添島正和（47年卒）を座長とし，東京歯科大学法人類学研究室の橋本正次助教授による学術講演会があった。演題は『骨（遺体）と日本人』で，一般の方や警察の方には聴講をご遠慮していただく中，警察医を含む多くの会員が出席した。

１．法人類学とは？ ２．個人識別方法とその重要性 ３．DNA 個人識別の有利な点，不利な点 ４．被害者としての日本人の感情，思考，行動つまり文化の理解 ５．警察協力歯科医制度の在り方の５つのテーマを普段聞けないような興味ある話と息をのむようなスライドの数々で講演され，出席者一同，時間を忘れて真剣に聴講した。

学術講演会後『蘇山会』総会が５時より同ホテルにて開催された。添島義樹（平成４年卒）の司会と開会後，中根俊吾熊本県支部長，天野恵東歯大同窓会長（25年卒），澤田稔九州地区理事（25年卒）のご挨拶と橋本助教授による東歯大現況報告があった。次に福嶋修治（51年卒）を座長に選出し，河野生司（56年卒）の庶務，津田寿子（49年卒）の会計現況，緒方史朗（39年卒）の監査などの報告があった。引き続き議事に移り，14年度会計決算と木村義浩（33年卒）の監査報告や16年度会計予算案＆事業計画案など無事承認され，最後に移動蘇山会，電話連絡網，総会日程の件などを協議した。

総会後記念撮影を行い，平井淳也（平３年卒）の司会で懇親会に移った。添島義和（37年卒）の乾杯で講演会・総会で乾ききった喉を一気に潤し，宴は急速に盛り上がった。近況や懐かしい話で宴たけなわのころ，堀川　正（平３年卒）の指揮で久し振りに校歌を斉唱し，森本博仁（49年卒）の万歳三唱で懇親会もお開きとなった。先生方は初冬を迎えた夜の街に，２次会，３次会へ意気揚々と足早に消えて行った。

（春野惟一 記）

クラス会だより

クラス会開催日程

燦　志　会（昭和16年３月卒）	と　き	平成16年５月16日(日)･17日(月)･18日(火)
	ところ	東京・帝国ホテル（予定）
七十九期会（昭和49年卒）	と　き	平成16年７月18日(日)
	ところ	帝国ホテル

五十二期会

昭和22年卒

東京例会

平成15年11月12日(水)於渋谷台湾料理「龍の髭」にて，

1）平成15年５月14日，千葉県柏市の麻薙光雄君逝去の報と供花について三輪幹事より報告。

2）10月，関口惠造君長男昌一氏の参議院議員埼玉補欠選挙の当選について，関口夫人へ級としてお祝文書を届けることに，酒匂幹事に一任。

3）秋のクラス総会旅行の件，ゴルフ組の予定立たず，卒後60周年を前に毎年恒例の級会が初めての失速ということで，次回再検討とする。

4）次例会は平成16年２月18日（水）同所を予定，予約。
参会者：片田，山崎，小倉，山本一成，千葉，山，伊藤孝，三輪，根本，酒匂。

年末来，あちこちから卒業後今まで綿々と続いてきた級会，ここで中断は淋しいとの声が寄せられました。ただ，今や皆人並に老の坂道，無理なく安，楽，金を目標にそれぞれの体調，動向など思案して，適当で長閑な集まりにと幹事で計画を練ることに。また例会も出来れば昼の会合に切り換え，在京者以外の級友の来京時に合わせて集まりを楽しめればと考慮中です。折々の連絡をお待ちします。

（酒匂睦夫 記）

デジタル写真についてのお願い

最近，投稿いただく原稿（支部のうごき，クラス会だよりなど）に貼付される写真に，デジタル写真が増えています。その際のお願いがあります。

1．家庭用の通常のプリンターで普通紙にプリントされたものは，粒子が荒れて，きれいな写真が再現できません。

2．フォトプリントされても，小さな写真を拡大すると，やはり粒状が荒れてしまいます。
プリントの場合は，出来るだけ密度を高く，大きなサイズ（Ａ５，Ｂ５など）にしてください。

3．JPEG などの圧縮ファイルに変換されますと，やはり再現性が悪くなります。

＊撮影されたままのファイル形式で，CD−R などにコピーして，郵送でお送りください。

おおかたのファイル形式に対応できます。

いとし会

昭和24年卒

平成15年10月28, 29日の2日間，一昨年の北海道に引き続き今回は旅行年ということで，幹事会でこの度参議院議長の職を辞された井上君の労をねぎらう意味も含めて，房総のバス旅行をきめました。

水道橋母校前を9時出発，新潟から目黒君夫妻，岐阜から加藤君，総勢26名。最初の目的地成田山新勝寺，奉賛会の会長をしておられる井上君の特別のお計らいで中学時代の同期生の橋本貫首大導師によるお護摩ご祈祷参拝，祈願成就を祈念，大本堂前で記念撮影後，光輪閣で橋本貫首から法話を拝聴，食事まで頂戴し，坊入やお内仏の参拝なども行われ，お不動様とご縁を深める尊いひとときを過ごさせていただきました。

次の目的地は香取神宮。藤原氏，鎌倉や徳川幕府などの武神として為政者の崇拝を集めた古寺，鬱蒼と茂る巨木が神域らしい霊気を漂わせ，徳川秀忠造営の本殿が建っていました。三方を海に囲まれた銚子半島の最東端犬吠崎，宿泊地ぎょうけい館に着いたのが4時半，15室全室，太平洋を一望にする部屋に落ち着く。新鮮な懐石料理に舌鼓を打ち，地元の威勢のよい銚子太鼓に調子を合わせ，飛び入りのカラオケの美声に耳を傾け，お互いの健勝を称えあう一ときを持ちました。翌朝4時半起床，太平洋水平線上からの日の出を鑑賞。

銚子半島先端にそそり立つ海食台地のシンボル灯台をバックに記念撮影，銚子港の魚市場に寄り，木更津からアクアラインに入り，海ほたるで休憩。全員が楽しいバス旅行を満喫。企画，設営を井上，杉山君にしていただき心から感謝しております。

出席者は，長井義博夫妻，鈴木義政夫妻, 井上純一郎夫妻, 目黒義雄夫妻，斎藤　久夫妻, 鮎澤武齢夫妻, 堀　将夫妻，井上　裕，愛知正昭，加藤正照，杉山邦夫，森　滋，大島水哉，熱田俊之助，西尾宏英，宮田俊昭，吉田邦夫, 山田英章, 和田周志

以上26名

15年前，森君より引き継いだ幹事長を今回をもって辞させていただき，次年度からは杉山君にお願いすることになりました。いとし会の発展を期待してやみません。

（堀　　将 記）

四　期　会

昭和31年卒

2003年の総会は，８月30日(土)～９月１日(月)にかけて，大町温泉から立山黒部アルペンルートを通り，宇奈月温泉までの二泊三日で行われた。30日の土曜日に大町温泉くろよんロイヤルホテル「福一」に17名が各地から集合し１年ぶりでの元気な再会を喜びあった。

総会は６時から太田の司会で始まり，前回の総会の後，３月７日にご逝去された千葉重博君のご冥福を祈り黙祷を捧げた。高橋君から，多忙のところ参集された各位に感謝と，今回，立山黒部アルペンルート旅行のことで地元の小林君から，細かなアドバイスをいただいたお礼が述べられ，これからもお互い元気なうちに一人でも多くの友人が四期会に参加してほしいと挨拶があった。続いて会務と現況報告を太田が，会計報告を梅原君がそれぞれ報告をした。次回の四期会開催日時，場所については幹事会一任ですべて了承された。

井上（藤）君の軽快な司会で懇親会が始まった。伊藤君の乾杯の後，お酒が入り舌が滑らかになるにつれ賑やかになりいつもの常連さんや，珍しい友達を交えて楽しく話が弾んだ。豪華な食事が並んだが，箸よりも話が多く食事が余ってしまった。

最後に，荒井君の中締めで楽しいクラス会を閉会した。二次会はカラオケルームに大勢集まり，遅くまで声が嗄れるほど楽しんだ。

翌日は小雨混じりのあいにくの天候だったが扇沢からダム建設の難工事で知られたトンネルを，トロリーバスで黒部ダムに着き，黒部湖から勢いよく放水される水の迫力に圧倒され，谷間にかかる虹の橋に見とれた。黒部平からは動く展望台（ロープウェイ）で大観峰に上がったが，途中の立山連峰や黒部湖を見渡す360度の景観は，残念ながら僅かに霧の中であった。再び日本で一番高いトンネルを走るトロリーバスで室堂に着いた。昼食の後，高原バスで美女平まで下りた。途中から霧も晴れ素晴らしい高原の景色を満喫することが出来た。ケーブルカーで立山へ行き，さらに電車で二泊目の宇奈月温泉延対寺荘に到着した。

ホテルでは前日と異なりさらに和やかにうち解けて，昨夜の続きとばかりさらに盛りあがった。夜半は豪雨で川は濁流が渦巻き電車の運行が心配されたが，朝になって雨も上がった。黒部ダム電源開発のために建設されたトロッコ電車が，雨上がりの秘境黒部峡谷を，川岸の絶壁にへばりつくように欅平まで我々を運んでくれた。往復の３時間20分は雨に洗われて目にも眩く鮮やかな緑と，谷間を立ちのぼる真っ白い霧が，川面に映って幻想的で，心が和み癒された思いがした。宇奈月に戻って昼食の後，３時半ごろ魚津駅から高崎，大宮，上野と次々に別れを惜しみながら解散した。

参加者（敬称略）（同伴組）荒井，梅原，川越，北村，高橋（一）（単身組）伊藤（成），井上（藤），氏家，太田，鬼久保，小林（規），水城奥様。

本稿を書いている時，この旅行に参加する予定だった長野の橋本　脩先生が１月４日にご逝去されたとの訃報が届いた。謹んでご冥福をお祈りいたします。　　合掌

（太田　寛記）

五　期　会

昭和32年卒

15年度クラス会は，青森，岩手両県に及ぶ三陸北部へ二泊三日の旅をし，初日の10月16日の夜，三沢市内の古牧温泉第４グランドホテルで総会を開催しました。当日集合場所は午後１時半，JR 八戸新幹線駅改札口付近とされ，出席者は会員19名，同伴者７名の計26名でした。当地域の出身者がいないため，昨年の世話人が引き続き任に就き，同じ旅行社の手配で「三陸北部方面夢の旅・山の幸，海の幸を求めて」と題して企画しました。

三日間の晴天続きが，地方色豊かで貫禄があり，雄弁でもの知りのガイド嬢をして，この時期めずらしいと参加者の日頃の行いをべた褒めしてました。

秋田から参加の太田君は，会員への手みやげにと郷里の銘酒をさげ，奥様と一足早く，直接に宿へ到着。

一行は待たせたバスで種差海岸に向い，広大な芝生を暫く散策のあと三沢市の古牧温泉へと進ませて，到着後バスでホテル庭園の案内をされながらひと廻りし，夕暮れ前に荷物を部屋に置きました。

午後６時半からの総会は，８月に逝去された苫小牧の村上　慧君と，10月に逝去された新潟の阿部繁君に哀悼の意を表して黙祷を捧げ，在京幹事会のメンバーが代わるがわる担当の立場から報告と挨拶をすませ，小沼君が乾盃の音頭をとって開宴となる。盛り上がった会は時の経つのも早く，９時ごろにお開きとなり，例年より幾分か早く各部屋が静かになったようです。

翌朝８時30分に出発し八戸を通過して九戸あたりで方向を平庭高原に変え，白樺林の紅葉を観て，久慈渓流沿いに下って琥珀で知名度の高い久慈市に向いました。昼食は博物館に隣接するレストラン，ビストロ・クンノコ（琥珀の当地方言）でフランス料理をシャレた山荘風の２階を貸切りで済ませ，自分に，家族にそれぞれ琥珀の装身用品を求めて次の目的地，北山崎に向い，重なる浸蝕岩の連続するリヤス式海岸の景観に心をうたれ，バス旅をつづけて田老に着き，午後４時発の最終便に間にあって，宮古浄土ヶ浜までの40分のウミネコ航路の船の人となり，奇岩観賞やウミネコの餌付けやらでにぎやかな船旅を終えて夕暮れに，今夜の宿，浄土ヶ浜パークホテルに入りました。

懇親会は昨夜以上に熱気を帯び，北東北屈指の料理宿だけあって申し分のない優雅な宴席となりました。

最終日の18日土曜日も８時30分に宿を出て，竜泉洞でドラゴンブルーの地底湖を見学し，早坂高原の白樺林の休憩所でジンギスカン料理の昼食をとり，今回の終着地 JR 盛岡駅へ２時前に到着，来年の再会を約束して解散となりました。

出席同伴組，伊藤英之，高畠一郎，今西孝博，井口由彰，太田晃，早川喜代夫，犬飼啓之。

会員参加，小沼　武，大橋　叔，平山眞佐雄，平山浄二，及川眞二，高田邦彦，釜田泰治，石井愼一，五十嵐秀夫，吉木周作，髙橋一高，荻野益男（順不同）。

なお，16年度は福岡の井口由彰君他九州勢のお世話で，10月に二泊三日の西海橋，平戸と伊万里，嬉野温泉方面の旅になるでしょう。

（荻野益男 記）

ジーベン会

昭和34年卒

第43回ジーベン会

平成15年度10月25日(土)～10月27日(月)２泊３日で沖縄にて開催。

大阪から八木君が出席，名古屋から７名，羽田から18名，那覇空港に集合，総勢26名が参加。

初日はバスにて移動しひめゆりの塔見学。壕の中に残っていた医療品中に錆びた抜歯鉗子があった。摩文仁の丘で皆で記念写真撮影。琉球ガラス村見学，那覇ハーバービューホテル泊。総会では昨年８月以降逝去された兼松隆徳，宮田富美雄，更家　卓，坂本清澄，三浦隆一，５名の物故会員に対し黙祷をささげた。各会務報告の後に山本幹事長を再任，来年（平成16年）は秋田で開催予定に決め，詳細は幹事会に一任となりました。夕食は那覇市内にて琉球舞踊を鑑賞しながら，郷土料理に舌鼓を打ち，30%焼酎いや40%の方がうまいと色々焼酎を堪能した。国際通りでも各自買い物をしてホテルにもどった。

翌日は沖縄道を通り平和記念公園，ちゅら海水族館などを見学。ロイヤルビューホテルで昼食，今帰仁城跡で鐘をたたいたような蝉のなく声を聞き，沖縄フルーツランドでパイナップルを食べ万座ビーチホテルのきれいな海岸で夜景を見ながらバーベキューを楽しんだ。最後の朝，首里城・守礼の門，見学。那覇空港より羽田，名古屋，それぞれ帰途についた。

出席者は次の通り（順不同敬称略）。

山本啓介，中井英夫，渡辺吉明，杉原伸顕，高橋和人，池田　漠，佐野公人，八木　博，小海優子，岡田邦子，延島三男，尾崎茂雄，岩瀬　朗夫妻，水口晃夫夫妻，村田基生夫妻，大金正幸夫妻，磯部喜彦夫妻，大久保雅順夫妻，鈴木恭平夫妻，会員19名，奥様７名，合計26名。

（杉原伸顕 記）

踏　志　会

昭和41年卒

第38回東京歯科大学踏志会総会が平成15年11月15・16日の両日静岡県浜松市のホテルオークラにて開催されました。今秋は気候の変化が大きく，11月15日(土)のゴルフ組は昼からの豪雨によりハーフラウンドにて中止となりましたが，浜名湖一周の観光組は幸いにも雨にも影響されず無事全行程を終了しました。その後17時30分より総会受付が始まり，18時より総会が23名出席の元行われました。そして19時より夫婦同伴者を含めて28名になり浜松は楽器の町にちなんで，フルートとマリンバの演奏があり盛会の内21時に校歌斉唱をもって閉会いたしました。なお2004年は神奈川県が幹事で行われる事が決定しております。多数の出席を期待しています。以上無事終了したことは出席者皆様のご協力によるものと思います。大変ありがとうございました。以下出席者名，青木，安藤，上竹，臼田，小川夫妻，門屋，神谷，城所，黒田，酒井(優)，柴山，高木(瑞)，高橋，田中(紀)，田中(令)，長山，成田，藤城(彰)，藤城(鐵)，丸田夫妻，村木，山本(芳)夫妻，西尾夫妻，西尾奈緒子（東歯大３年生）以上28名です。

（西尾義房 記）

志　学　会

昭和42年卒

第23回総会は平成15年10月12日(日)新潟県柏崎市のホテル「岬館」で開催された。日本海側では初めてのことで全国から42名の参加があり，夫人連も11名加わった。早目の受付を済ませ各自それぞれの部屋で一休み，日本海に沈む夕日を眺めながら，総会会場へ。午後６時に田辺君の司会で開会，この１月に急逝した山川雅義君への黙祷を捧げたあと大岡会長の挨拶，続いて高橋君を議長に選出，会長の会務報告，会計報告(赤穂)，母校近況について薬師寺君から報告がなされた。とくに本年の国家試験の好成績に会員一同の顔がほころんだ。順調に議事も進み，次年度開催地を仙台市に決定した所で，羽生君の閉会の辞によって総会を終了した。引き続き記念撮影会場へ，本年は夫人同伴が10組あり共にカメラに収まった。７時から懇親会で中川（勝）君の司会で新潟幹事の高垣君の歓迎の挨拶そして20数年前本校のある三崎町から嫁いだ先が奇しくも「岬館」という女将の挨拶が続き，中島君の大盃による乾杯で開宴となった。海の幸に囲まれ，そこかしこに破顔一笑のみられる宴席となった。途中午前中に行われたゴルフコンペの発表があり，橋口君の優勝が告げられた。多面にわたる話題に事欠かぬ志学会の宴席もやがて定刻に，勝海君の閉会の辞でも名残り惜しく二次会へ。久し振りのカラオケでは，トップ新潟幹事の関根君の唄の上手さに，二番手は皆尻込みを

してしまった。相当授業料を払ったに違いない。カラオケをバックに和やかな雰囲気で昔のような激論組もなく岬館の夜は更けて行った。

翌13日(月)は30名が市内観光で雨の中出迎えのバスへ，清水さん母娘はマイカーで後を追うことになった。

まず幹事勝海君の計らいで開館前の藍民芸館へ，中国の泥人形，珍しい急須のコレクションがあり明治初期の教育用幻燈器材とスライドに江戸川乱歩調のおどろおどろしさを感じた。また一畳程の一枚ガラスに砂を吹きつけ彫刻した「鑑真和尚」の精緻さに驚かされた。次に木村茶道美術館へ，ここも同君の計らいで全員にお点前をということになり，とくに国宝級の茶碗を用意されているとのこと，心得のある者を正客に，松本夫人，大岡会長，中川君気疲れご苦労様，ただし茶器拝見の後さすが国宝級だけあってすぐに仕舞われたのをしっかりと見た。全員茶席で品が良くなったあとは昼食のため，川口簗（やな）場へ向かった。雨は降り止まず到着後もやや肌寒い程で鮎を塩焼きする囲炉裏の暖が心地良かった。塩焼きに始まり総て鮎づくしに舌鼓を打った後，やな場に下りてみる。流れが早く晴れなら清涼感あふれるという表現がぴったりだが今日は一寸降りすぎた。昼食後は銘酒「久保田」で有名な朝日酒造を目指し一路長岡へ。朝日酒造と縁戚にある長岡出身の永井君の案内で工場見学となったが雑菌予防のため，ICUに入る姿にさせられいざ見学，名水と精選酒米によって造られる銘酒の工程を㊙の部分まで見学出来た。僅かな菌混入によって味が変質するというので咳払い一つにも要注意であった。午後3時半，長岡駅に到着，再会を期し解散，昨年に続き雨の総会となったが内容のある会となり幹事の勝海，高垣，関根諸兄の努力に感謝する次第である。

（赤穂英生 記）

OB会・グループ・サークルだより

どっこい結構しっかりしている現役学生
東京歯科大学管弦楽団第26回定期演奏会開催

去る平成15年11月23日(祝)千葉校舎講堂にて，東京歯科大学管弦楽団第26回定期演奏会が開催されました。指揮は昨年に引き続き，鎌田由紀夫氏にお願い致しました。ご指導いただいている鎌田氏は本学管弦楽団以外にも数多くの大学オケやアマチュアオケを指導されています。この日のプログラムは「春の声」(ヨハン・シュトラウス)，交響曲第8番ロ短調・未完成（シューベルト）そして交響曲第7番ニ短調（ドヴォルザーク）でした。特にドヴォルザークの交響曲第7番はプロでもやりにくい難曲で，OB達に「ここは音大じゃないんだからよく考えろ……」と陰口を叩かれながらも，部員達の日々の弛まぬ努力と鎌田氏の温かいご指導とエネルギッシュな指揮で見事に弾きこなしました。

現在の学生は学習内容が多岐にわたり高度でかつ分量も多く，CBTやOSCEそして国試対策と相まって大変忙しい生活を強いられています。教えてやるんだ，諭すんだ等の先輩風をふかした話は一切通用しません。

最近，今の学生気質云々がよく聞かれる話ですが，一回の演奏会を企画運営するノウハウがしっかり引き継がれていることが分かりました。どっこい結構しっかりしているじゃないかと感心しながらステージにあがったOBは下記の皆様方です。

多胡　彬，山本勇人，西山和秀，小川　学，岡崎　真，広瀬史子，関根亜里砂，野添智子，土居知良，野津秀朗，加藤広之，(順不同，敬称略）以上11名でした。

（高市　武 記）

第四回轍会（自動車部OB会）東北ミーティング

平成15年10月18日(土)宮城県仙台市秋保温泉ニュー水戸屋において第4回目となる轍会が開催されました。OB17名，現役部員3名の若干少なめの参加者数となりましたが卒業以来30数年ぶりにお会いする先輩のかたもご出席になりたいへん盛大なOB会となりました。

仙台の奥座敷とも言われる秋保温泉は歴史深い風情のある温泉で，地酒を酌み交わしながらカラオケあり，色気ありの楽しい一時を深夜ま

で過ごしました。

翌19日は晴天に恵まれ，紅葉がりを兼ね宮城蔵王中腹まで林道コースを走行。車両４台でのドライブは学生時代の各地への遠征を懐かしく思い出させる走行となりました。

蔵王町遠刈田温泉名物，豆腐料理を堪能し来年の再会を約しながら解散しました。

次年度は，創部50年記念パーティーを平成16年６月19日東京ドームホテルにて開催の予定になっており，多数のOBのご出席をお待ちしております。

参加者

昭和34年卒：山本啓介，村田基生
昭和37年卒：初鹿繁和
昭和40年卒：臼井久雄
昭和41年卒：小森谷　豊
昭和42年卒：大岡紀一郎，関谷和夫，菊地　誠
昭和43年卒：浦井照彦，東海林秀樹，河村正夫，谷越英之
昭和44年卒：小椋教順，千葉正胤
昭和46年卒：守谷匡治
昭和48年卒：林　量一
昭和60年卒：小筆正弘
現役部員：川音　渉，蓮見卓真，林　遼

（千葉正胤 記）

東京歯科大学ヨット部創部30周年記念祝賀会

平成15年11月15日に東京歯科大学ヨット部創部30周年記念祝賀会が豪華客船シンフォニーにて行われた。当日雨の予想にもかかわらず，雨が降る前にOB現役約50名が東京日の出埠頭に集合，誰一人乗り遅れることなく無事に出航した。会場は船の３Ｆにある眺めの良い部屋で皆大満足でした。祝賀会は齋藤　守OB会長（昭和57年卒）の挨拶から始まり，初代部長後藤譲治先生（昭和38年卒）と現部長奥田克爾教授（昭和43年卒）のご挨拶に続き，本会名誉会員の矢島敏夫先生（昭和16年卒）の乾杯の音頭で始まった。本年は現役が歯学体２位と好成績を収めたうえ，クルーズ後半にはデッキに出て夜景を眺めたことも弾みとなりOB・現役ともおおいに盛り上がって，合宿での笑い話や創部当時の思い出など昔話に花が咲いた。帰港までの２時間30分は瞬く間に過ぎ，中川　路副会長（昭和60年卒）の一本締めで会は終了し，皆余韻を残しながらの解散となった。

（昭和62年卒・五十嵐　治 記）

平成16年度（第28回）全国同窓囲碁大会 開催のお知らせ

今年度の全国同窓囲碁大会を下記により開催いたしますので奮るってご参加ください。

日　　時：平成16年４月18日（日）　午前11時試合開始
会　　場：市ケ谷　日本棋院会館
指導棋士：小林健二７段
参 加 費：12,000円（懇親会費を含む）
参加申し込み：FAX　03－3871－4180
はがき　110-0003　東京都台東区根岸3－7－1　高橋　一祐　宛
準備の都合上３月末日までにお願いいたします。

逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。

（敬称略・届出順）

●昭16.12卒	高野文夫（87歳）	肺炎	15.12. 1
茨城県支部	〒300-1531 茨城県北相馬郡藤代町小浮気700－1		
●昭 40 卒	橋本信也（63歳）	肺炎	15.12. 5
岐阜県支部	〒503-0887 大垣市郭町1－103		
●昭 12 卒	三浦清（88歳）	肺炎	15.11.17
静岡県支部	〒411-0037 三島市泉町3－7		
●昭 25 卒	小川忠雄（77歳）	胆肝癌	15.12. 7
神奈川相北支部	〒228-0812 相模原市相南1－15－9		
●昭 16 卒	久松正章（87歳）	胸部大動脈瘤破裂	15.12. 8
麻布赤坂支部	〒106-0045 港区麻布十番2－5－2		
●昭 10 卒	前田忠蔵（91歳）	誤嚥性肺炎	15.12. 8
室蘭支部	〒050-0085 室蘭市輪西町1－13－7		
●昭 12 卒	新沼杏二（92歳）	脳梗塞	15. 9. 2
北多摩支部	〒206-0021 多摩市連光寺1－7－30 ライオンズマンション213		
●昭19.9卒	兒玉正義（79歳）	肺炎	15.12.12
足立支部	〒120-0015 足立区足立4－26－14		
●昭19.9卒	徳植進（80歳）	肺癌	15.12.15
大森支部	〒143-0016 大田区大森北4－16－11		
●昭 33 卒	黒田祐司（73歳）	脳出血	15.12.18
岩手県支部	〒026-0054 釜石市野田町1－15－16		
●昭 23 卒	梶川尚（77歳）	急性心筋梗塞	15.12.24
愛知県支部	〒475-0023 半田市亀崎町4－231		
●昭 29 卒	原田公雄（74歳）	直腸癌	15. 1.15
杉並支部	〒168-0064 杉並区永福2－34－6		
●昭 11 卒	五十嵐堯昭（90歳）	肺炎	15.12.25
練馬支部	178-0062 練馬区大泉町5－4－16		
●昭 31 卒	橋本脩（72歳）	肺癌	16. 1. 4
北信支部	〒382-0092 須坂市北原町555		
●昭 4 卒	川上三郎（97歳）	糖尿病	15.12.29
茨城県支部	〒300-1513 茨城県北相馬郡藤代町片町258		
●昭 31 卒	辻田トシエ（73歳）	急性骨髄性白血病	15.12. 8
静岡県支部	〒421-0421 静岡県榛原郡榛原町細江1068－10－201		
●昭 37 卒	吉田欣司（66歳）	シャイ・ドレーガー症候群	16. 1. 6
横須賀鎌倉支部	〒248-0033 鎌倉市腰越1－1－21－206		
●昭 38 卒	篠田穣（66歳）	急性心筋梗塞	16. 1. 7
愛知県支部	〒468-0034 名古屋市天白区久方1－2		
●昭20.9卒	奥村晴一（79歳）	心臓病	16. 1. 9
武蔵野支部	〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町3－13－16		
●昭 13 卒	野呂田邦輔（90歳）	肺炎	16. 1. 8
秋田県支部	〒016-0843 能代市中和1－3－20		
●昭 32 卒	伊藤正弘（71歳）	脳梗塞	15.12.23
千葉県支部	〒272-0815 市川市北方2－4－3		
●昭20.9卒	石原清弘（81歳）	間質性肺炎	16. 1.13
南信支部	〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村1991		
●昭 22 卒	鳥取崇昌（78歳）	腎臓癌	16. 1.15
岡山県支部	〒708-0067 津山市新職人町24		

鹿渡　茂兄の急逝を悼む

五十鈴会（昭和25年卒）

2003年11月5日早朝石川県の鹿渡　茂兄が心筋梗塞で急逝されました。74歳でした。前日まで白衣を着て診療していたとのことで残されたご家族を始めすぐに知らせを受け前夜も長電話をしていた富山の内田兄の驚きたるや如何ばかりのものであったでしょう。

労災認定されるみたいの話ですよね。1年位前から“時々胸が痛む”ともらしていたようですが吾が戦中派は弱音を吐かないのが常でしたから，それが裏目に出てしまって残念です。

学生時代から眉太く髪も多くなかなかの好男子でした。

旅行好きでクラシックの演奏会には手間ひまを惜しまずに出席していたようで名盤をたくさん集めておったことでしょう。

ゴルフも好きで五十鈴会では年齢は若いグループに属していましたが地味な存在でしたから歴史文化の味の深い石川県でおもう存分良い空気をたくさん味わっておられたのでしょうね。

告別式には友人を代表して内田兄が参列しました。ご冥福を祈りお別れの言葉とします。

（川上正義 記）

太尾政雄兄の訃報に接して

五十鈴会（昭和25年卒）

童顔で何時も変わらない太尾政雄兄が胆管細胞癌で亡くなった，73歳であった。

東京五十鈴会では，よく見かけるのでしたが何時も話しかけようとしても，忙しそうにしていて話もそこそこに“じゃーまたねー”と伝書鳩のように直ぐに家に帰って行く友でした。

顔も体型も学生時代と殆ど変らないうらやましい友の一人でやさしい気配りで県や川崎市の公職も評判がよく娘二人のご家庭では大切にされ絵に画いたような日常生活でした。

学生時代休講が大体2時間の時三つの組に分かれた。一つは神保町書店街に行く組，二つは靖国神社に行く組，三つは後楽園に行く組に分かれて行動した。彼は靖国神社の組であった。

境内に入ると誰一人いない玉砂利の道を黙々と歩いてゆく私が『靖国神社も神様もあんまりご利益なかったなあー』と言うと彼は奮然として歩調をとって真直に本殿に向い深々と拝礼した。クラスの中では一番若い年齢に属し軍隊の経験がないのにとおもいこの男を見直した。

遠くで見守りながら気にかけていた友であった。今訃報をきき心から哀悼の意を表し，ご冥福を祈ります。

（川上正義 記）

佐藤正紀君を悼む

晃和会（昭和43年卒）

私たち昭和43年卒業晃和会のクラスは，昭和37年春バラ園のようだった教養課程に入学して42年になる。多くは，還暦を迎えて，新しい気持ちでそれぞれの人生を生き抜こうと約束したはずだった。佐藤君は，糖尿病と戦い新宿で開業のかたわら研究熱心で広島の学会に出かけて帰らぬ人となってしまった。痛恨の極みである。

佐藤君は，歯科医になるために生まれてきたように思う。学生時代は薬理学講座に出入りして，痛み止めに関する仕事を夜遅くまでやっていた。卒業後，再生医学に強い関心をもち日本医科大学の研究生となった。多くの時間を費やし，最終的に見事な論文を完成させ，医学博士の学位を取っている。佐藤君の Morphological and histological studies on bone differentiation in transplanted dental pulp tissues は，Connective tissue に掲載され世界的評価がなされている。佐藤君の人生やアイデアが凝集された論文は，再生医学と取り組んでいる多くの研究者の参考になり受け継がれていくだろう。佐藤君の新しい考えを患者の治療にも取り入れようとする姿勢は，学位をとった後も続けてきた。

私たち，同級生はみんな，佐藤君の歯科医としてのセンスや生き方に，いつも感銘を受けてきた。佐藤君の崇高な生き方を，私たちは見習っていきたい。また，佐藤君の元で研鑽した後輩達も，歯科医師としてまた人として佐藤正紀君を目標に生きていくだろう。　　合掌

（奥田克爾 記）

◆投稿規定

(1) 原稿締切り
原稿の締切りは，奇数月の10日までとし，原則として翌月発行の会報に掲載いたします。

(2) 投稿様式
投稿は原稿用紙に横書きとし，便箋などの使用はご遠慮ください。ワープロ使用の場合は1行16字で設定して下さい。写真はピントのあったものを，大きいサイズ（2Lなど）で，集合写真のみでなく，スナップなども添えて下さい。

(3) 投稿字数
① 「すいどうばし」欄（随想，詩，短歌，時評など）は，1編1,600字程度
② 「支部のうごき」「クラス会だより」は，本文のみの場合1,600字程度。写真が入る場合，3段抜き900字，2段抜き400字，1段抜き200字減らして下さい。
③ 「追悼」は，500字程度

(4) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし，紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので，ご了承下さい。
なお，掲載については委員会にご一任いただきます。

(5) 写真等の返却
写真等は，原則として返却いたしませんが，特に貴重な写真などの場合は，その旨書き添えて下されば返送いたします。

◆へんしゅうこうき

★ 年を経るに従い，時間の流れが速くなります。委員会の任期も区切りの2年になりました。この2月号をもって，任務が終わります。

★ 昨年2月号より，懸案であった紙面の変更に踏み切りました。理事会の快い賛同を得て，現在の版型，「A4変版」となりました。グラフ誌の主流といえるスタイルです。A4版そのままでは，B5版の本箱に入りません。縦を少し短くして，対応しました。

★ 文字の大きさも，少しですが大きくなりました。高齢化の進みつつある時代，読みやすくなったとなかなかの好評です。なにより，写真が大きくなったので，大勢でも顔がはっきりしますし，複数枚並べられるようになりました。

★ アナログからデジタルへと時代は進化しています。会報も電子出版や，ホームページへの掲載の声が聞こえてきます。経費の削減や，情報の即時性を考えると，検討すべき時が来たといえましょう。とはいえ，一覧のわかりやすさと，取りに行かなくとも手元に届けられる暖かさは捨てがたく，手にとった新しい紙の匂いと，レイアウトと文字遊びのぬくもりも，代え難いものがあります。

★ 久しぶりの委員会企画，「女性会員の動向アンケート」の結果はいかがご覧いただけたでしょうか。3分の1を超える女性会員数に，期待のパワーを感じます。各地でも，少数ですが役員や委員としての活躍が始まっています。ただ，地区支部会員への登録数はまだまだ少なく，少しでも障害を取り除いて，積極的参加を期待したいものです。

★ 手始めに，同窓・同業同士で結婚されている方の，旦那様の積極的支援で，奥様に参加を期待したいのですが……。

★ 新しい委員会が出発します。今まで以上にご支援ご協力をお願いいたします。

（小林伯男）

広報部委員会
広報担当理事　大井　基道
委員長　小林　伯男
副委員長　角田　正健
林　量一
委員　野村　淳
黒澤　珍介
臼田　準
三友　和夫
尾﨑　圭子

平成16年2月20日　印刷
平成16年2月25日　発行
東京歯科大学同窓会会報　第338号
同窓会ホームページアドレス
http://www.tdc-alumni.jp

発行人　大井基道
編集人　小林伯男
東京歯科大学同窓会
〒101-0061　東京都千代田区三崎町2－9－18
電話（03）5275－1761
FAX（03）3264－4859
印刷所　一世印刷株式会社
〒161-8558　東京都新宿区下落合2－6－22
電話（03）3952－5651（代）

頼れる新商品登場!!

TOKIO MARINE

すでに多数の先生にご利用いただいております、同窓会団体保険制度

「東京歯科大学同窓会団体所得補償保険」（（社）日本歯科医師会団体契約）

に下記の頼もしい新商品が追加されました。

1.「がん保険（1年契約用）」	30%団体割引適用
2.「医療保険（1年契約用）」	30%団体割引適用

※平成16年1月1日保険開始です。中途加入も毎月可能です。

1. がん保険の特徴

※がんは治る時代！　でも治すためにはいざという時の準備が必要です。
東京海上のがん保険は初期がんでも全額補償、診断給付金は何度でも
(2回目以降は2年経過後)、入院給付金は何日でも補償します。

【加入例】Aタイプ（本人型）

・診断給付金１００万円、入院給付金１日２万円、重度一時金１００万円
その他手術給付金、通院給付金、がん女性特定手術保険金などの保障がついて
４２歳【男性】月々　９１０円　【女性】月々　１,１３０円

※　初年度契約は、保険始期を含めて９０日間を経過した日の翌日から保障開始となります。

2. 医療保険の特徴

※もしも入院された場合の思わぬ負担・入院の長期化が心配です。
東京海上の医療保険は入院初日から補償がスタート。１入院180日間
（通算限度なし）までお支払いします。

【加入例】Aタイプ（本人型）

・入院給付金１日１万円、重度入院一時金１００万円、退院後療養保険金10万円
女性入院保険金１日１万円などの保障がついて
４２歳【男性】月々　３,０４０円　【女性】月々　３,８００円

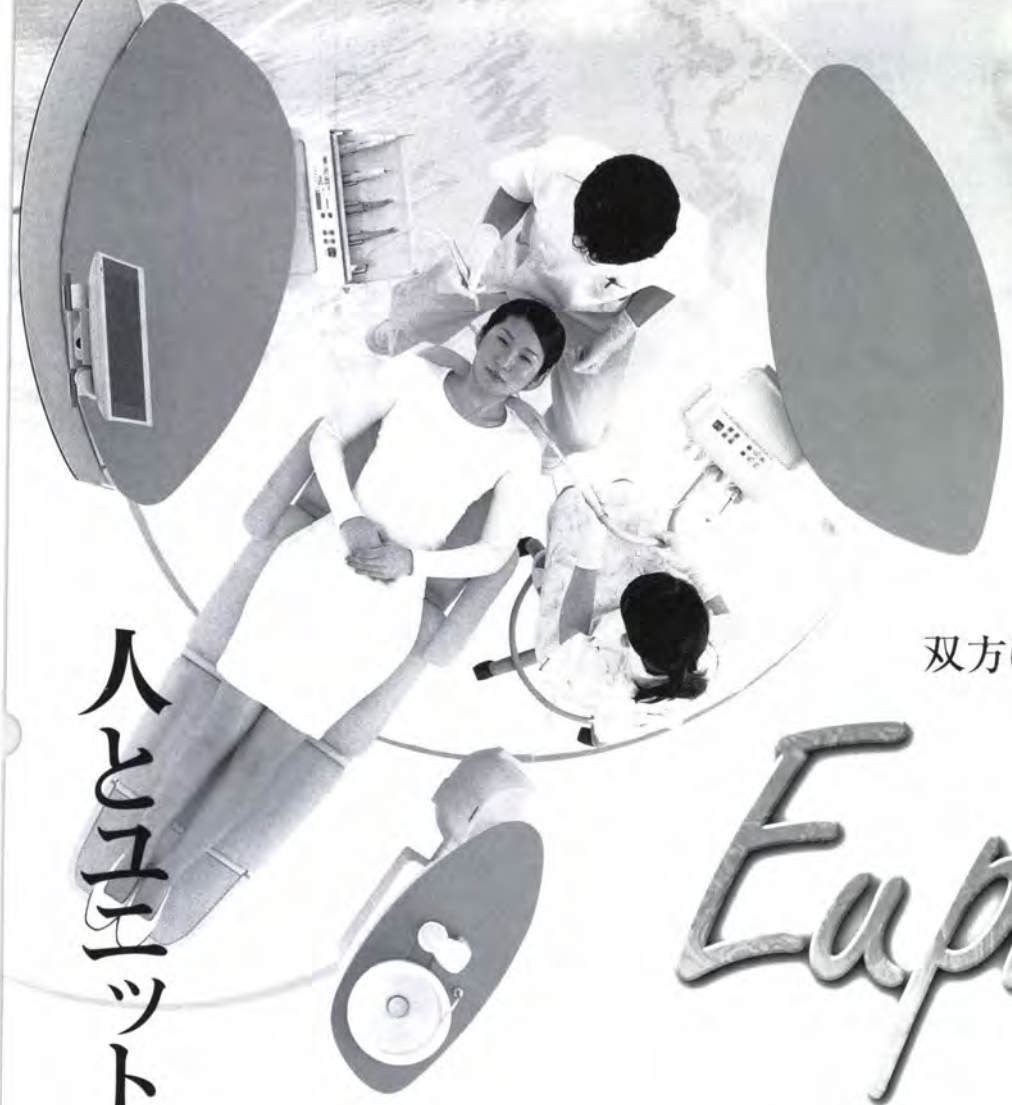
※詳細は、パンフレットに記載されておりますので、ご要望の先生は下記代理店までお申し付け下さい。

生きることのすべてに、関わろうと思う。

東京海上

安心、ひろげます。
東京海上

東京海上火災保険株式会社　〒100−0004　東京都千代田区大手町1−5−1
大手町ファーストスクエアWEST11階
お問い合わせ先：TEL 03−5223−2566
ホームページアドレス　http://www.tokiomarine.co.jp
同窓会指定取り扱い代理店　日本保険マネジメント株式会社
お問い合わせ専用フリーダイヤル　0120−463−176



診療を受ける患者さん
診療をおこなうドクター
双方に幸福感を与えるユニット

人とユニットの新しい関係

Euphoria
ユーフォリア

ユーフォリアはデンタルユニットであるにもかかわらず、置かれる空間までもユニットに取り込み、患者さんがリラックスでき、ドクターも快適な診療をおこなえる理想的な空間を創り出します。

ユーフォリア
医療用具承認番号21300BZZ00397
¥3,386,000～

2002-2003
グッドデザイン賞
受賞商品

長田電機工業株式会社
〒141-8517 東京都品川区西五反田5-17-5
TEL 03(3492)7651 FAX 03(3492)7506
http://www.osada-electric.co.jp

※商品は改良の為、予告なしに仕様を変更することがありますので予めご了承下さい。
又、ご不明な点はオサダ営業所にお問い合わせ下さい。
※表示価格は消費税抜きの価格です。消費税は別途申し受けます。

環境マネージメントシステム
ISO 14000
JARI-RB
JAER 0211
長田電機工業(株) 名古屋工場

歯科鋳造用陶材焼付貴金属合金タイプ1

ケイアイケイ
KIK

Atlas

KIK アトラス

許可番号 11BZ0269

時の流れをこえたクオリティの高さ

上質なゴールドカラーで、
審美性も抜群

- ●成　　分：金86.5%　白金11.3%　その他
- ●溶 融 温 度：液相点—1125℃　固相点—1050℃
- ●色　　調：黄金色
- ●熱膨張係数：14.4×$10^{-6}K^{-1}$ (50~500℃平均)
- ●質　　量：10g

●物理的・機械的特性

硬さ(HV)		耐力(MPa)		伸び(%)		密度
鋳　造	グレーズ	鋳　造	グレーズ	鋳　造	グレーズ	(g/cm^3)
180	220	490	570	6	7	18.8

製品名	成　分				液相点	硬さ	耐力	伸び
	金	銀	白金	パラジウム	(℃)	(HV)	(MPa)	(%)
KIK	85.5	0.5	4.0	8.0	1200	170	400	4
KIKハードⅡ	72.0	2.8	13.0	9.7	1290	210	420	5
KIKルミナス	75.0	2.9	10.0	10.0	1295	210	410	5
KIKゴールド	86.7	—	10.7	—	1100	140	260	10
KIKジースリー	84.5	0.4	10.8	1.0	1180	210	400	6
KIKノーブル	45.0	—	—	46.0	1280	220	450	18
KIKエイブル	40.0	19.5	—	35.0	1270	275	480	6
KIKウィング	—	—	—	81.0	1290	250	450	23

■詳細につきましては、弊社までお問い合わせください。
ホームページ：http://www.ishifuku.co.jp

ロンドン金市場公認溶解検定業者／(社)日本金地金流通協会正会員／㋮金銀パラジウム合金 JIS表示許可工場

㊧石福金属興業株式会社 歯科材販売

本　　社：〒101-8654　東京都千代田区内神田3丁目20番7号
TEL.03-3252-8471(直通)　FAX.03-3252-8475

大阪営業所：〒550-0005　大阪市西区西本町1丁目13番36号
TEL.06-6532-1351(代)

名古屋営業所：〒450-0002　名古屋市中村区名駅5丁目22番10号
TEL.052-563-1201(代)

九州営業所：〒802-0002　北九州市小倉北区京町3丁目13番13号
TEL.093-531-9331(代)

MITSUBISHI
三菱電機
hanges for the Better

当医院の約束です。

きれいな手で歯を治療します。

▼

ゴミも出しません。

衛生的な環境 手を差し出すだけのノータッチ乾燥だからとても衛生的。治療はいつも清潔な手で。

ゴミ0（ゼロ）トイレ ゴミの出ない、美しいトイレを実現。お掃除の手間も不要。10円で300回使える経済性も魅力。

スピード乾燥 風速90m/秒、両面ジェットの風で5～6秒のスピード乾燥。患者さんをお待たせしません。

上記特長はスリムタイプを中心に説明しています。

両面ジェット風でスピード乾燥

抗菌
スリムタイプ
JT-SB116D形（100V）
JT-SB216DS形（単相200V）
希望小売価格188,000円（税別）

抗菌
ハイパワータイプ
JT-WB220CS2形
（単相200V）
希望小売価格
220,000円（税別）

カウンタートップタイプ
JT-K10A3形
（100V）
希望小売価格
188,000円（税別）

NEW

抗菌
ミニタイプ
JT-MC107E-W形
（ホワイト・100V）
JT-MC107E-C形
（ベージュ・100V）
希望小売価格
98,000円（税別）

ビルトインタイプ
JT-BC110A形
（100V）
希望小売価格
198,000円（税別）

三菱ハンドドライヤー
ジェットタオル®

www.MitsubishiElectric.co.jp/jettowel

人と暮らしの夢づくり
Advance to the Next

三菱電機株式会社 三菱電機株式会社 中津川製作所 新事業推進グループ 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1-3 TEL 0573-66-8219

Happy Smiles & Heartful Communication

MORITA

すべてはコミュニケーションから始まります。

「治療」から「ケア」までサポートします。

患者さんの「口腔の健康」を一生見守る。そんな、患者さんの健康管理のための診療環境として、「NEW POS A&C 診療セット」は、新たなスタイルで登場しました。治療からケアまでをサポートする、患者さんが求める快適な診療ができる21世紀に向けての診療設備です。

患者さんと先生の6つのポジション

患者導入ポジション

カウンセリングポジション

12時診療ポジション

9時診療ポジション

プラークコントロールポジション

対面ポジション

NEW pOS ベイシェント オリエンティッド システム 診療セット

patient oriented system A&C Amenity & Communication

品質マネジメントシステム ISO9001 認証 JQA-0933

環境マネジメントシステム ISO14001 認証 JQA-EM0543

■標準価格 4,207,000円より ■医療用具承認番号 20200BZZ01453

※標準価格は2002年1月21日現在のものです。標準価格には消費税等は含まれておりません。

※仕様及び外観は製品改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

製造 株式会社モリタ製作所

株式会社モリタ
東京本社 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL:03-3834-6161
大阪本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL:06-6380-2525

株式会社モリタ製作所
本社工場 京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533 TEL:075-611-2141
久御山工場 京都府久世郡久御山町大字市田小字新珠城190 〒613-0022 TEL:0774-43-7594

株式会社モリタ東京製作所
本社工場 埼玉県さいたま市中央区上落合2-1-24 〒338-8538 TEL:048-852-1315
伊奈工場 埼玉県北足立郡伊奈町小室7129 〒362-0806

新しい素材が根管充填のスタイルを広げます。

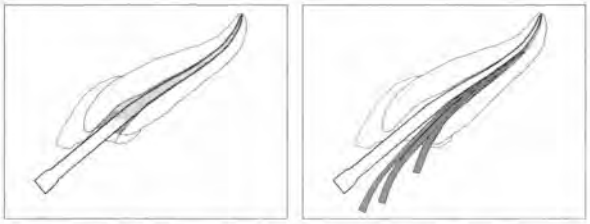
TÜV CERT ISO 9001 ISO 13485 EN 46001 認証取得

同じだけど違う!

Same but Different

■ 保険診療対応。
加圧根管充填が算定頂けます。

■ マスターポイントとしてお使い頂けます。



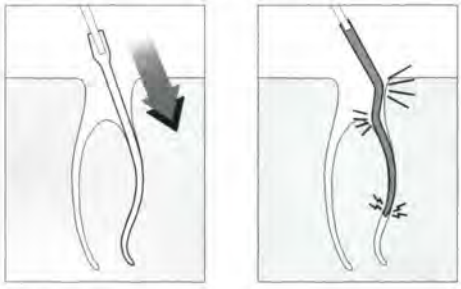
ラテラルコンデンスの場合、アクセサリーポイントはガッタパーチャ製をお使い頂きます。
余剰部分は加熱したインスツルメントでカットできます。この際、ガッタパーチャを切除するときより高めに加熱します。
※溶剤で軟化させることはできません。シーラー併用です。
※製品添付の取扱説明書をよくお読みのうえご使用下さい。

■ ポイントの除去が可能です。
根管内にエンジンリーマーを挿入すると、ポイントに沿ってリーマーが簡単に入ります。ある程度エンジンリーマーが入ったらハンドリーマーやファイルを用いて除去して下さい。

■ 簡単に切削できます。
スチールバーでもピーソリーマーでも、簡単に切削できます。

■ ISO規格(ISO6877)に準拠しています。
エックス線造影性 6.6mm
サイズ ISO 20 25 30 40 50 60 70

■ フレキシブル!
コシが強く柔軟性が高いため、細い根管への挿入が容易です。



■ オートクレーブ滅菌に対応しています。
円筒容器ごとオートクレーブ滅菌できます。

■ 根管長測定のX線撮影にお使い頂けます。
造影性・耐久性が高く、リーマー等に替わり安全にご使用頂けます。

■ 均質です。
機械化された射出成形により、均質でサイズ精度の高い品質を確保しています。

■ 生体親和性の高い材質です。
フレックスポイントの皮下埋入試験
兎背部の表皮下に#30のフレックスポイントとガッタパーチャポイントを4週間埋入

<組織像>

<フレックスポイント>　<ガッタパーチャポイント>

ポリプロピレン
医療材料、食品包装、衣類、家電製品などに広く使われている樹脂で、剛性、耐熱性、耐湿性、耐薬品性、耐曲げ疲れ性などに優れた特性を持ちます。また、内分泌かく乱物質(環境ホルモン)を含まないプラスチックとしても知られています。

フレックスポイント「ネオ」の組織反応はガッタパーチャポイントより軽微であり、歯科材料としての組織為害性には問題ないと判断できます。

NEW!

FLEXPOINT® NEO

歯科用根管充填ポイント

フレックスポイント®「ネオ」

医療用具承認番号　21300BZZ00184000
日本特許 第3174944号／米国特許 6024569

組　成　ポリプロピレン／硫酸バリウム
包装価格　単　品　50本入　3,000円
セット　50本入　3,000円
#30～70各10本 入り
(#20#25は入っていません。単品包装をご利用下さい)

ネオ製薬工業株式会社
〒150-0012 東京都渋谷区広尾3丁目1番3号
Tel.(03)3400-3768(代)　Fax.(03)3499-0613

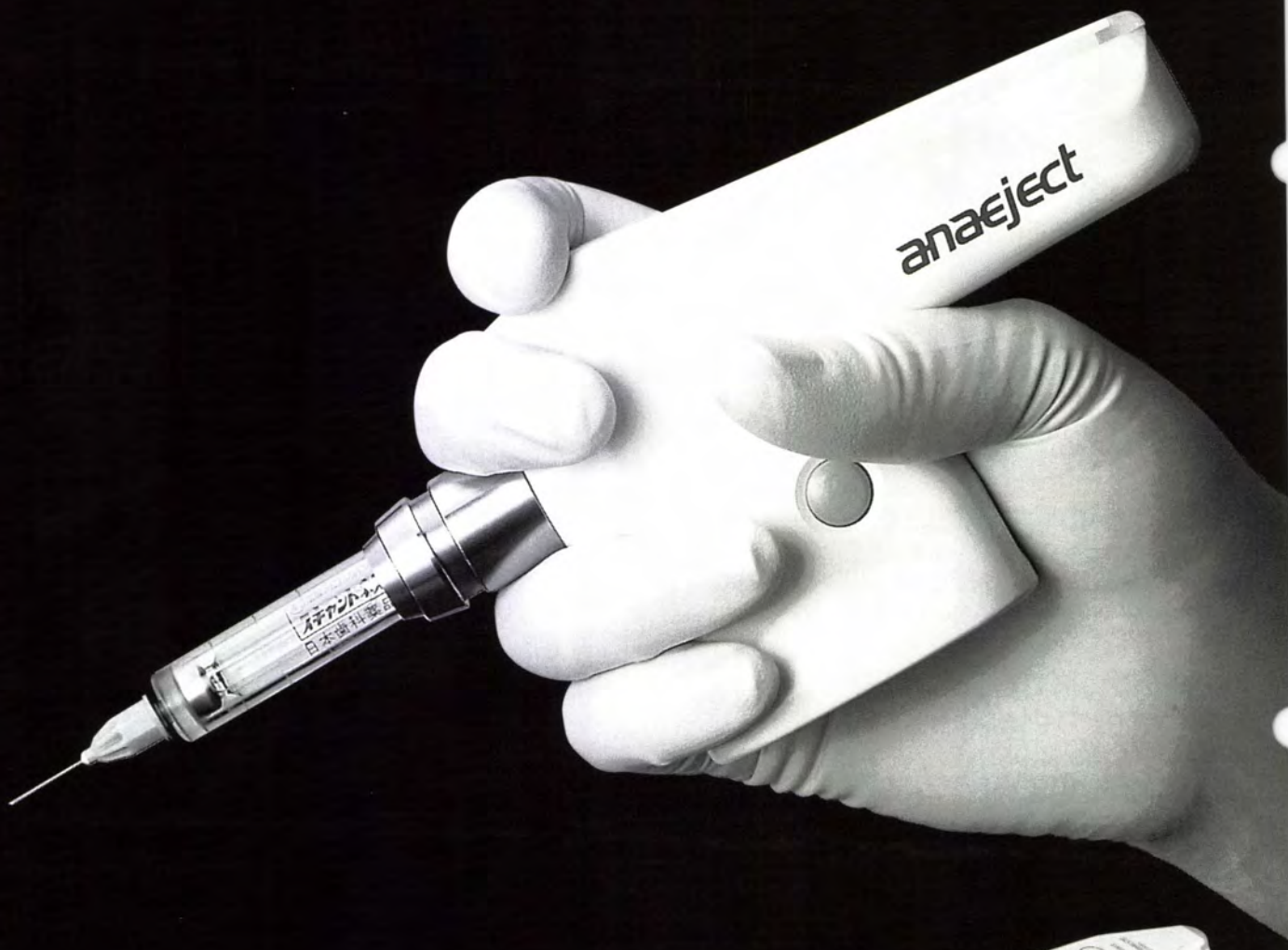
ネオ製薬ホームページ
最新の製品情報を掲載
http://www.neo-dental.com/

NF0203

NISHIKA

すべての性能を コンピューター制御

コンピューター制御注射器の コードレス化実現



コンピューター制御 コードレス電動注射器

アネジェクト

承認番号 21400BZZ00430000

ホームページではアネジェクトの性能をより詳しくご紹介しています。 http://www.nishika.co.jp/anaeject/

NISHIKA 日本歯科薬品株式会社

本　　社 下関市西入江町2−5 〒750−0015 TEL0832−22−2221(代) FAX0832−22−2220
大阪営業所 大阪市中央区瓦町4−8−4 〒541−0048 TEL06−6222−4090(代) FAX 06−6222−3950
東京営業所 東京都千代田区外神田6−16−9 〒101−0021 TEL03−3832−4791(代) FAX 03−3832−4792
お問い合わせ・資料請求は お客様窓口 0120−8020−96 〔ホームページ〕http://www.nishika.co.jp/

SHOFU

これからはセラマージュに おまかせください。

Light-curing Crown & Bridge, Inlay and veneer Composite

CERAMAGE

ハイブリットタイプ

色調、強度、操作性。新規PFSフィラーの実力。

セラマージュ

前臼歯対応歯冠用硬質レジン

セラマージュは先生方に最もご愛用いただいている**前装冠硬質レジン「ソリデックス」をさらに進化させたハイブリッドタイプの前臼歯対応歯冠用硬質レジンです。**新規PFS（Progressive Fine-Structured）フィラーの採用により、多彩な審美再現と材料強度向上（ソリデックスの約2倍）に成功しました。もちろん、定評ある操作性はそのままです。

▲写真提供／大畠 一成 先生

▲写真提供／宇毛 玲 先生

①自然感あふれる色調再現

天然歯近似の光透過特性で、自然感あふれる色調を再現。多様なクリア色をはじめ、豊富な色調。

②抜群のペースト操作性

ベタつかず、スパチュラばなれが良い歯冠用コンポジットレジン。

③高い靭性で臼歯部に対応

陶材よりも「ねばり強く」、従来の光重合型硬質レジンよりも「破壊強度に優れる」。対合歯へのダメージも最小。

【包装・価格】

＜セット商品＞医療用具承認番号21500BZZ00483

セラマージュセット スタンダード（8色セット）… ¥173,000

セラマージュセット イントロ（1色セット A2、A3、A3.5）…各¥28,500

＜単品商品＞医療用具承認番号21500BZZ00247

- セラマージュ プレオペーク2mL……¥4,200
- セラマージュ オペーク2mL（全25色）……¥4,200
- セラマージュ 歯冠用コンポジットレジン（全74色 サービカル8色、オペークデンティン20色、ボディ20色、インサイザル6色、トランスルーセント10色、コンセントレイト10色）4.6g（2.6mL）…¥4,800
- セラマージュ フローアブルコンポジットレジン（全5色）2mL…¥3,800
- セラマージュ モデリングリキッド 6mL……¥3,200

●価格は2004年3月現在の標準医院価格（消費税抜き）です。

SHOFU 世界の歯科医療に貢献する 株式会社 松風
●本社：〒605-0983京都市東山区福稲上高松町11・TEL(075)561-1112㈹ http://www.shofu.co.jp
●支社：東京(03)3832-4366 ●営業所：札幌(011)232-1114/仙台(022)299-2332/名古屋(052)709-7688/大阪(06)6252-8141/福岡(092)472-7595

歯科に関わる感染症を理解するための決定版

好評発売中

本書は、一貫して歯科医学の臨床と結びつけてバイオフィルム感染症とアレルギー疾患を中心として言及している。齲蝕や歯周病はバイオフィルム（biofilm）感染症として捉えられることから随所に取り上げている。院内感染予防など基礎的なものを取り上げ、図と写真を多くし、わかり易く記載している。また、耐性菌の出現やそれらの微生物との戦いの最前線の課題も取り上げている。歯周病と全身疾患との関係がはっきりしてきて、歯科と医科の隔たりを埋めるペリオドンタルメディシン（periodontal medicine）という言葉が定着したことを考慮し、書き加え、また、介護者への口腔ケアの必要性なども微生物学の視点で追加したものである。　※本書は『㊞口腔感染症とアレルギー』の改訂版です。

①カラー症例写真とイラストでわかり易い解説
②バイオフィルム感染症の最前線を掲載
③命を狙う口腔細菌の病原性について
④アレルギーなど免疫疾患について平易に解説
⑤歯科医療機関内感染予防策を具体的に記載

最新口腔微生物学

—バイオフィルム感染症とアレルギー疾患—

東京歯科大学　奥田克爾　著

B5判／480ページ
定価（本体8,500＋税）
（送料実費）

《本書の主な内容》
◎バイオフィルム感染症とは
◎薬剤で治療できないバイオフィルム感染症
◎逆襲に転じているブドウ球菌
◎21世紀は結核菌が再び死因のトップ
◎免疫系はいつまでも頼りになる訳ではない
◎口腔細菌による免疫系の錯乱
◎アレルギー疾患を理解するための基礎知識
◎免疫疾患とその口腔内症状
◎ウィルス感染は口腔内に症状を呈する
◎院内感染起因菌は口腔内に潜伏している
◎肝炎ウィルスに歯科医療はどう対応するか
◎デンタルプラークは歯垢ではない
◎齲蝕、歯周病はワクチンで予防できるか
◎老人性肺炎の予防は歯科医療担当者の役割
◎信頼の基礎となる歯科医院内感染予防

一世出版
ISSEI　〒161-8558　東京都新宿区下落合2-6-22
TEL 03-3952-5141　FAX 03-5982-7751
[ホームページ]http://www.issei-pub.co.jp

EOM·Σ

21世紀の快適な診療空間…イオムΣ(シグマ)が演出します。

E(Ergonomic―人間工学的な)・O(Organic―有機的な)・M(Multiform―多様な)をコンセプトに誕生したイオムは、人間工学に基づいた有機的なデザインと、変化し多様化する診療形態に対応。最新鋭デンタルユニット「イオムシリーズ」として進化を続けてまいりました。そしていま、「イオムシリーズ」はステップタイプチェアのイオムΣSS、OSを加えさらに充実。イオムは、すべてのデンタルスタッフと患者さんに、快適で効率的な診療シーンをお届けします。

DENTAL UNIT

※写真はイオムΣ SS イオムオリジナルセットです。

EOM·Σ SS
SLIDING DELIVERY & STEP CHAIR

- ●イオムΣ ss ベーシックモデル ¥3,800,300(取付料別)
- ●イオムΣ ss オリジナルセット ¥4,100,000(取付料別)

※写真はイオムΣ OS イオムオリジナルセットです。

EOM·Σ OS
OVER ARM & STEP CHAIR

- ●イオムΣ os ベーシックモデル ¥3,620,300(取付料別)
- ●イオムΣ os イオムオリジナルセット ¥3,940,000(取付料別)

※写真はイオムΣ SC イオムオリジナルセットです。

EOM·Σ SC
SLIDING DELIVERY & CONTOURED CHAIR

- ●イオムΣ sc ベーシックモデル ¥3,680,300(取付料別)
- ●イオムΣ sc イオムオリジナルセット ¥3,980,000(取付料別)

※写真はイオムΣ OC イオムオリジナルセットです。

EOM·Σ OC
OVER ARM & CONTOURED CHAIR

- ●イオムΣ oc ベーシックモデル ¥3,500,300(取付料別)
- ●イオムΣ oc イオムオリジナルセット ¥3,820,000(取付料別)

イオムΣSS/OS/SC/OC　医療用具承認番号　21100BZZ00693000号

※掲載の病院医院価格は、2001年8月現在のものです(価格には取付料・消費税は含まれておりません)。

株式会社 ジーシー

DIC(デンタルインフォメーションセンター)
東京都文京区本郷3-2-14 〒113-0033
／フリーダイヤル 0120-416480
受付時間9:00a.m.~5:00p.m.(土曜日、日曜日、祭日を除く)
※アフターサービスについては、最寄りの営業所へお願いします。

GC homepage URL
http://www.gcdental.co.jp/

歯科技工学科

高等学校卒業以上・昼間2年制

歯科技工専修科

歯科技工士の資格を有する者・昼間2年制

理事長
歯学博士
大塚昌助
（東歯大34年卒）

校　長
歯学博士
大塚弘介
（東歯大36年卒）

顧　問
東京歯科大学 学長
石川達也

東技専
TOKYO DENTAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

東京歯科技工専門学校
TOKYO DENTAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

〒141-0031 東京都品川区西五反田5-1-10　（東急目黒線不動前徒歩２分）
TEL 03(3492)4221(代)　FAX 03(5436)8925
URL http://www.tdct.ac.jp　E-mail:tdct@nifty.com